

1. 健診に関する分析

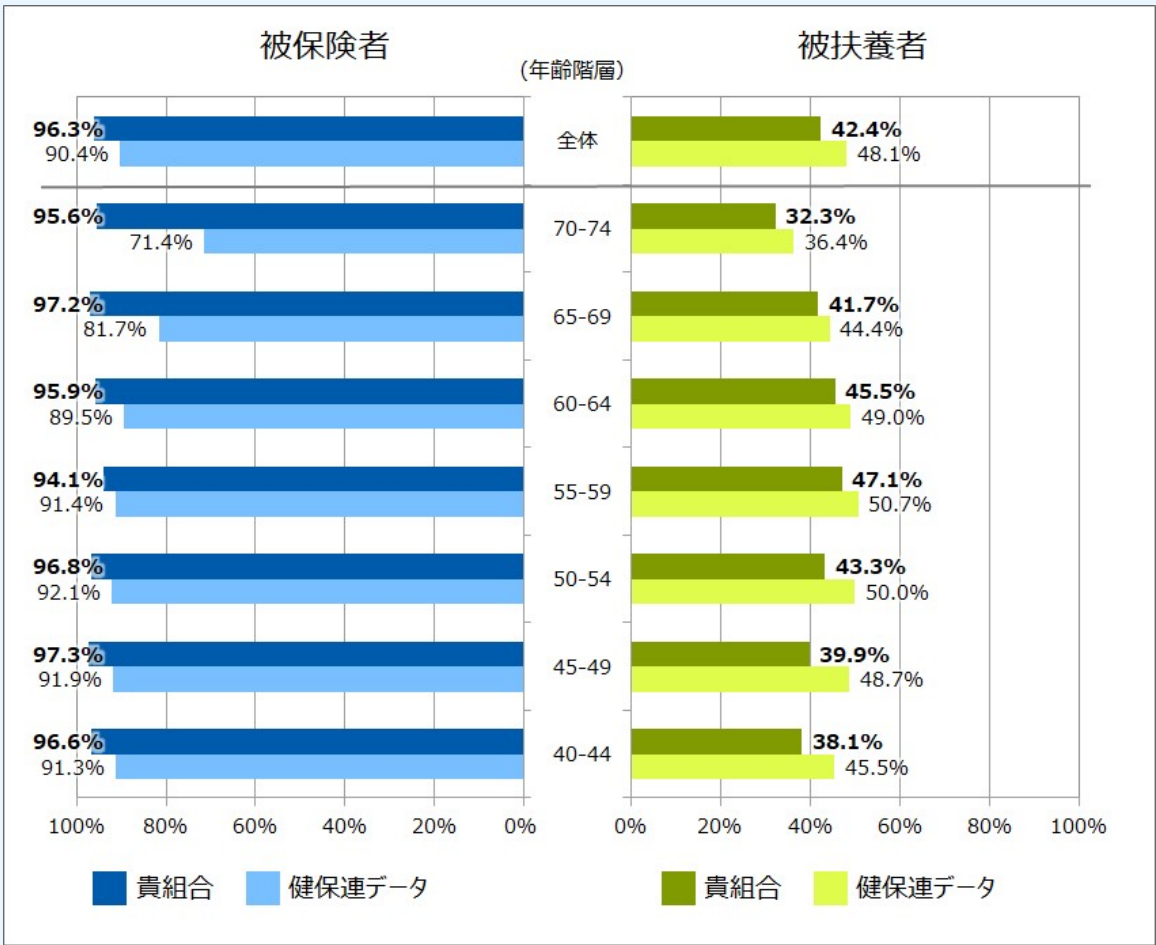
(1) 健診受診状況（被保険者／被扶養者）

- 特定健診受診率については、被保険者では「96.3%」で、健保連データを「5.9ポイント」上回っています。
- 被扶養者では「42.4%」で、健保連データを「5.7ポイント」下回っています。

健診受診状況

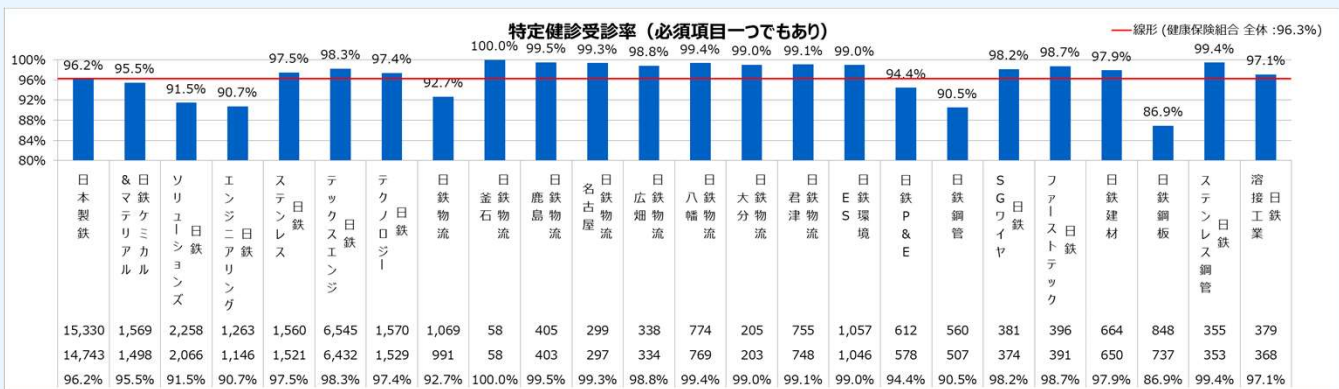
■ 被扶区分別特定健診受診率 健保連データとの比較

別冊1（40歳以上） P.12



■ 事業所別特定健診受診率（集計対象：被保険者）

別冊2



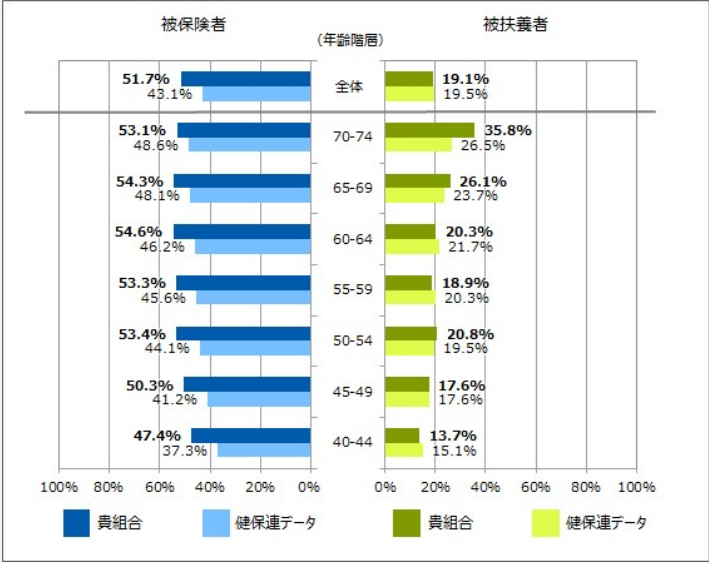
1. 健診に関する分析

(2) 健診検査値の状況（肥満リスク）

- 肥満リスクの該当者率については、被保険者全体では「51.7%」で、健保連データを「8.6ポイント」上回っており、高い水準と評価できます。また、すべての年齢層で健保連データよりも高い水準です。
- 被扶養者全体では「19.1%」で、健保連データを「0.4ポイント」下回っています。

※65-69歳、70-74歳については記述していません。

■ 肥満リスクの該当者率 健保連データとの比較 別冊1（40歳以上） P.16



■ 肥満リスクの該当者率 経年比較 別冊1（40歳以上） P.28

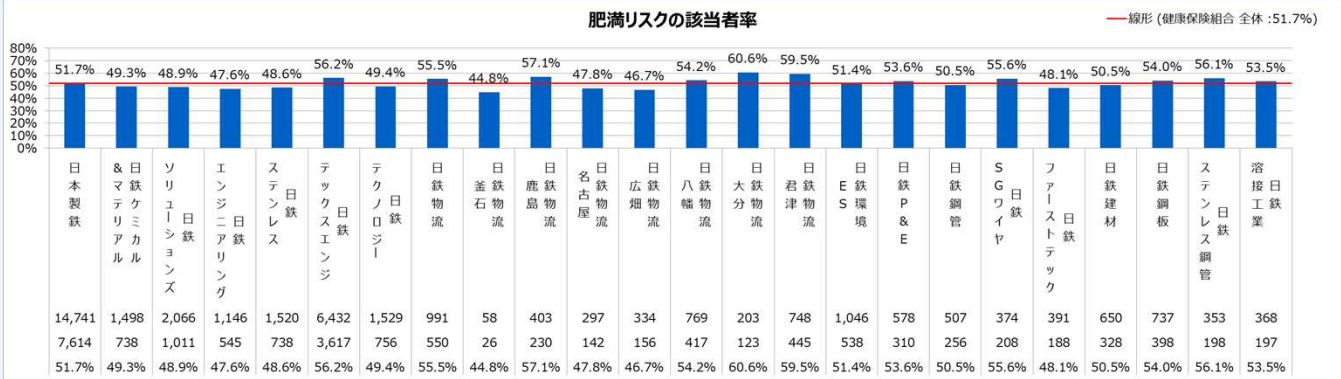


	肥満
腹囲	男性：腹囲 85以上 女性：腹囲 90以上
BMI	男性：腹囲 85未満 かつ BMI 25以上 女性：腹囲 90未満 かつ BMI 25以上

肥満リスク該当者は、上記いずれかのリスク条件の該当者

※上段と中段のグラフについて
上段の年齢階層データはリスク判定に使用する複数の健診値のうち、いずれかのデータがある方を分母とし、中段の経年データはリスク判定に使用する複数の健診値のうちすべてのデータが揃っている方を分母としているため、該当者率が異なる場合があります。

■ 肥満リスクの該当者率 事業所ごと（集計対象：被保険者） 別冊2



1. 健診に関する分析

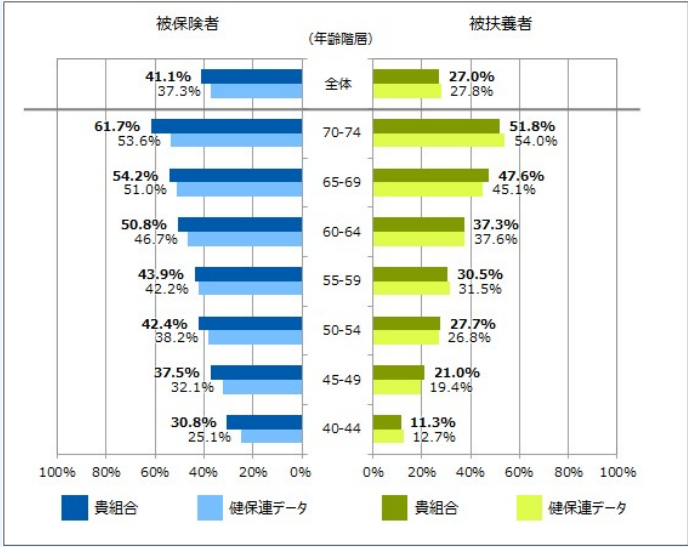
(2) 健診検査値の状況（血圧リスク）

- 血圧リスクの該当者率については、被保険者全体では「41.1%」で、健保連データを「3.8ポイント」上回っており、高い水準と評価できます。特に「40-44歳」「45-49歳」「50-54歳」の年齢層で健保連データよりも高い水準です。
- 被扶養者全体では「27.0%」で、健保連データを「0.8ポイント」下回っています。
- 事業所間で比較すると、「日鉄物流名古屋」「日鉄物流大分」「日鉄物流君津」が高い水準にあります。

※65-69歳、70-74歳については記述していません。

血圧リスク

■ 血圧リスクの該当者率 健保連データとの比較 別冊1（40歳以上） P.16



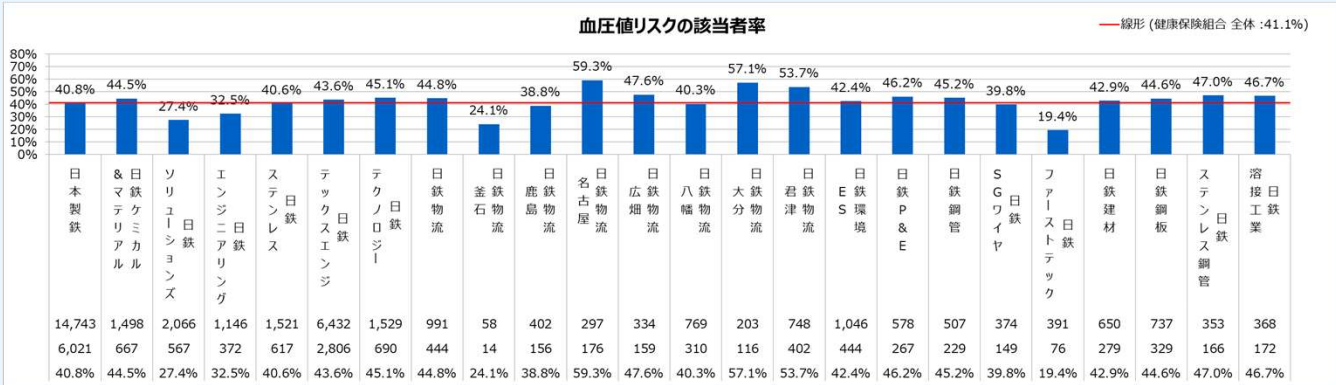
■ 血圧リスクの該当者率 経年比較 別冊1（40歳以上） P.28



	正常域	保健指導	受診勧奨1	受診勧奨2
収縮期血圧	130未満	130以上 140未満	140以上 160未満	160以上
拡張期血圧	85未満	85以上 90未満	90以上 100未満	100以上

血圧リスク該当者は、保健指導以上の区分該当者
(収縮期血圧 130以上 または 拡張期血圧 85以上)

■ 血圧リスクの該当者率 事業所ごと（集計対象：被保険者） 別冊2



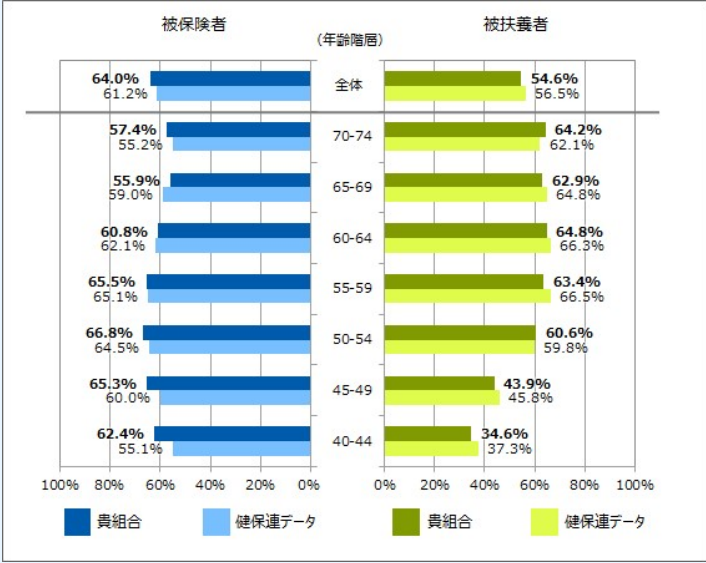
1. 健診に関する分析

(2) 健診検査値の状況（脂質リスク）

- 脂質リスクの該当者率については、被保険者全体では「64.0%」で、健保連データを「2.8ポイント」上回っています。
- 被扶養者全体では「54.6%」で、健保連データを「1.9ポイント」下回っています。

※65-69歳、70-74歳については記述していません。

■ 脂質リスクの該当者率 健保連データとの比較 別冊1（40歳以上） P.16



■ 脂質リスクの該当者率 経年比較 別冊1（40歳以上） P.28

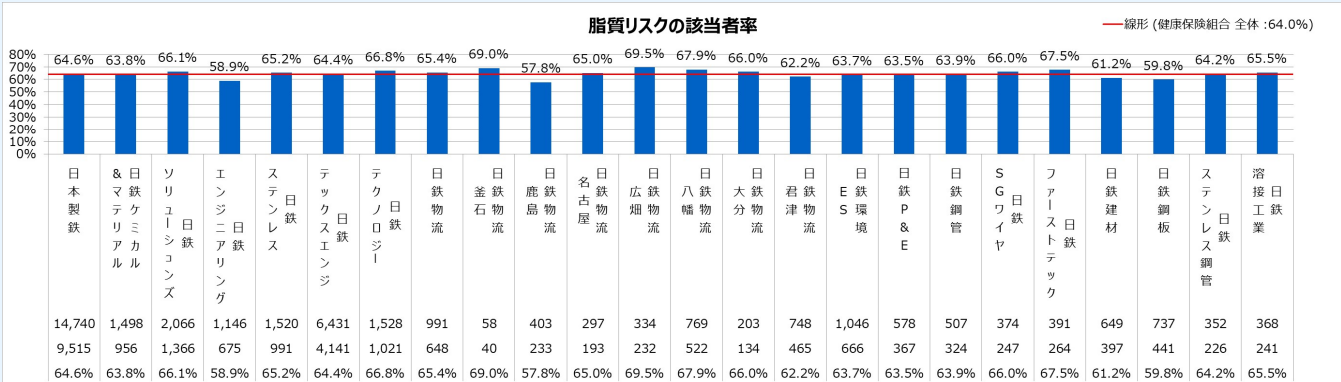


	正常域	保健指導	受診勧奨1	受診勧奨2
HDL コレステロール	40以上	40未満	-	-
LDL コレステロール	120未満	120以上 140未満	140以上 180未満	180以上
中性脂肪 または空腹時 中性脂肪	150未満	150以上 300未満	300以上 500未満	500以上
随時 中性脂肪	175未満	175以上 300未満	300以上 500未満	500以上

脂質リスク該当者は、保健指導以上の区分該当者
(HDLコレステロール 40未満 または
LDLコレステロール 120以上 または
空腹時中性脂肪 150以上 または 随時中性脂肪 175以上)

※R6年度より「中性脂肪」が「空腹時中性脂肪」「随時中性脂肪」に区別されます。
・R5年度（2023年度）まで、中性脂肪を判定に使用
・R6年度（2024年度）から、空腹時中性脂肪、随時中性脂肪を判定に使用

■ 脂質リスクの該当者率 事業所ごと（集計対象：被保険者） 別冊2



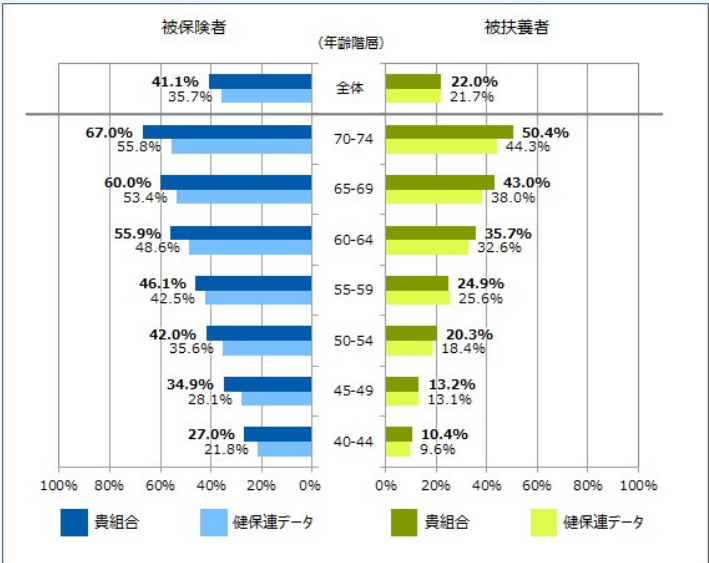
1. 健診に関する分析

(2) 健診検査値の状況（血糖リスク）

- 血糖リスクの該当者率については、被保険者全体では「41.1%」で、健保連データを「5.4ポイント」上回っており、高い水準と評価できます。特に「40-44歳」「45-49歳」「50-54歳」「60-64歳」の年齢層で健保連データよりも高い水準です。
- 被扶養者全体では「22.0%」で、健保連データを「0.3ポイント」上回っています。
- 事業所間で比較すると、「日鉄物流釜石」「日鉄物流鹿島」が高い水準にあります。

※65-69歳、70-74歳については記述していません。

■ 血糖リスクの該当者率 健保連データとの比較 別冊1（40歳以上） P.16



■ 血糖リスクの該当者率 経年比較 別冊1（40歳以上） P.28

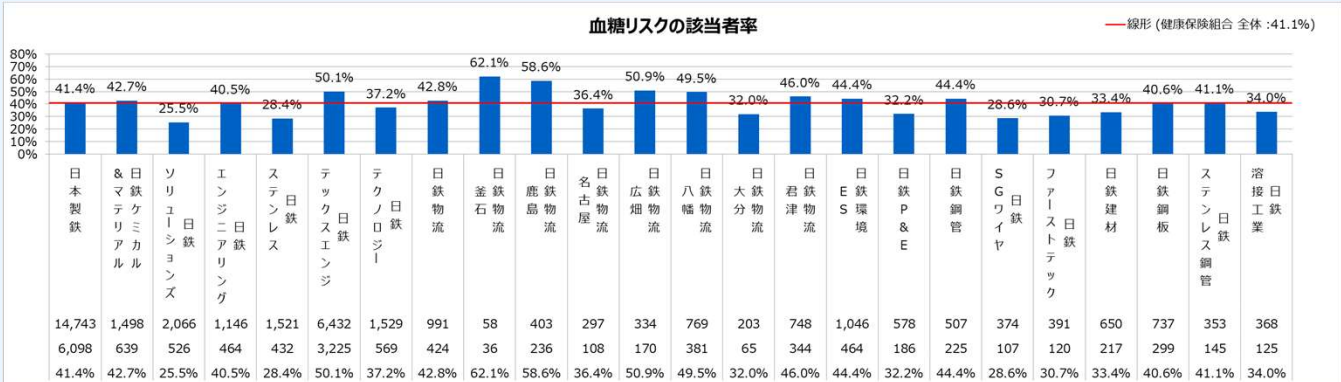


	正常域	保健指導1	保健指導2	受診勧奨
空腹時血糖	100未満	100以上 110未満	110以上 126未満	126以上
Hba1c (NGSP)	5.6未満	5.6以上 6.0未満	6.0以上 6.5未満	6.5以上
随時血糖	100未満	100以上 110未満	110以上 126未満	126以上

血糖リスク者は保健指導以上の区分該当者

(空腹時血糖 100以上 または
空腹時血糖のデータがないとき HbA1c 5.6以上 または
空腹時血糖のデータがない かつ HbA1cのデータがないとき 随時血糖 100以上)

■ 血糖リスクの該当者率 事業所ごと（集計対象：被保険者） 別冊2



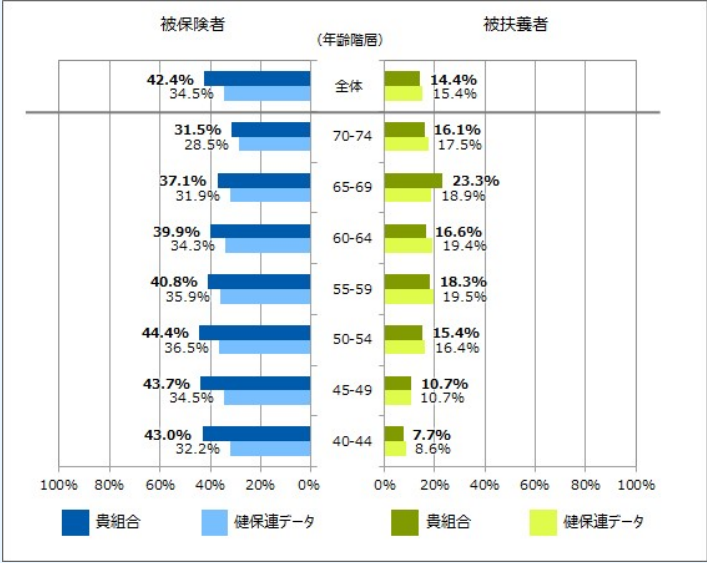
1. 健診に関する分析

(2) 健診検査値の状況（肝機能リスク）

- 肝機能リスクの該当者率については、被保険者全体では「42.4%」で、健保連データを「7.9ポイント」上回っており、高い水準と評価できます。また、すべての年齢層で健保連データよりも高い水準です。
- 被扶養者全体では「14.4%」で、健保連データを「1.0ポイント」下回っています。
- 事業所間で比較すると、「日鉄物流大分」が高い水準にあります。

※65-69歳、70-74歳については記述していません。

肝機能リスクの該当者率 健保連データとの比較 別冊1（40歳以上） P.17



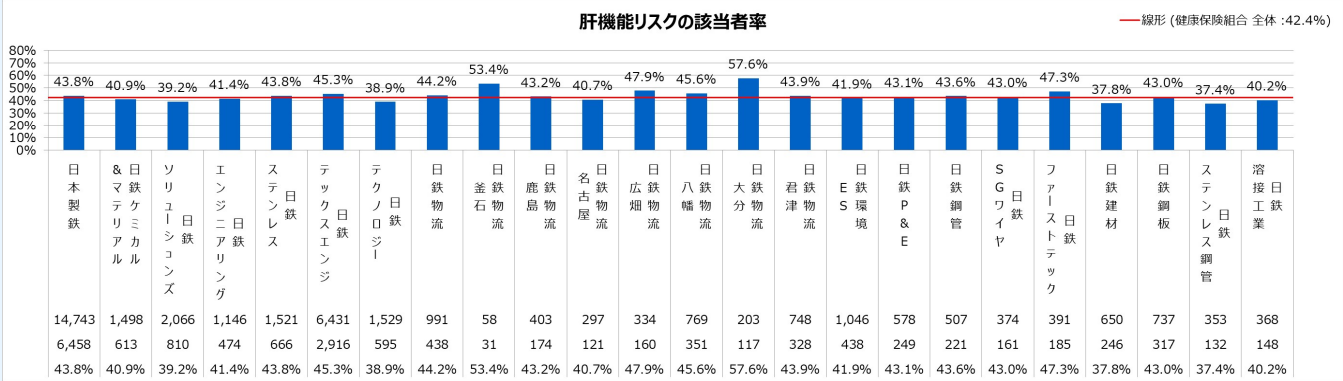
肝機能リスクの該当者率 経年比較 別冊1（40歳以上） P.28



	正常域	保健指導	受診勧奨
GOT (AST)	31未満	31以上 51未満	51以上
GPT (ALT)	31未満	31以上 51未満	51以上
γ-GT (γ-GTP)	51未満	51以上 101未満	101以上

肝機能リスク者は保健指導以上の区分該当者
(GOT・GPT 31以上 または γ-GT 51以上)

肝機能リスクの該当者率 事業所ごと（集計対象：被保険者） 別冊2



1. 健診に関する分析

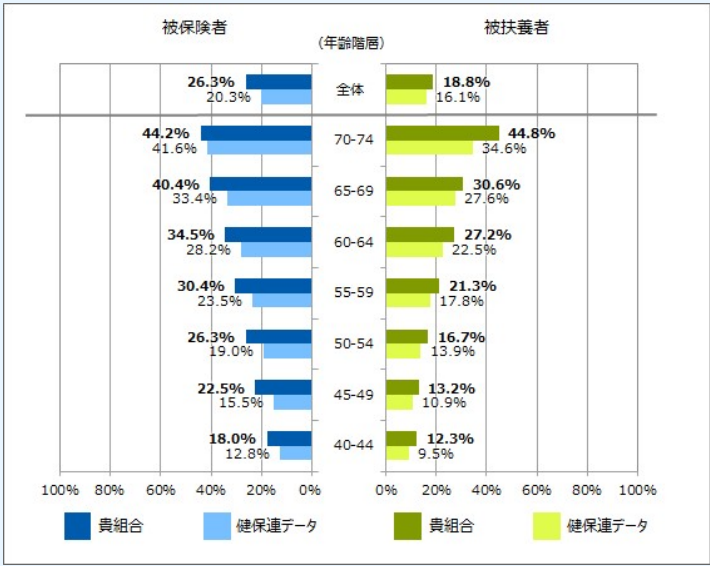
(2) 健診検査値の状況（腎機能リスク）

- 腎機能リスクの該当者率については、被保険者全体では「26.3%」で、健保連データを「6.0ポイント」上回っており、高い水準と評価できます。また、すべての年齢層で健保連データよりも高い水準です。
- 被扶養者全体では「18.8%」で、健保連データを「2.7ポイント」上回っており、高い水準と評価できます。また、すべての年齢層で健保連データよりも高い水準です。
- 直近三カ年では、被保険者女性はずかに増加傾向です。
- 事業所間で比較すると、「日鉄物流釜石」が高い水準にあります。

※65-69歳、70-74歳については記述していません。

腎機能リスク

■ 腎機能リスクの該当者率 健保連データとの比較 別冊1（40歳以上） P.17



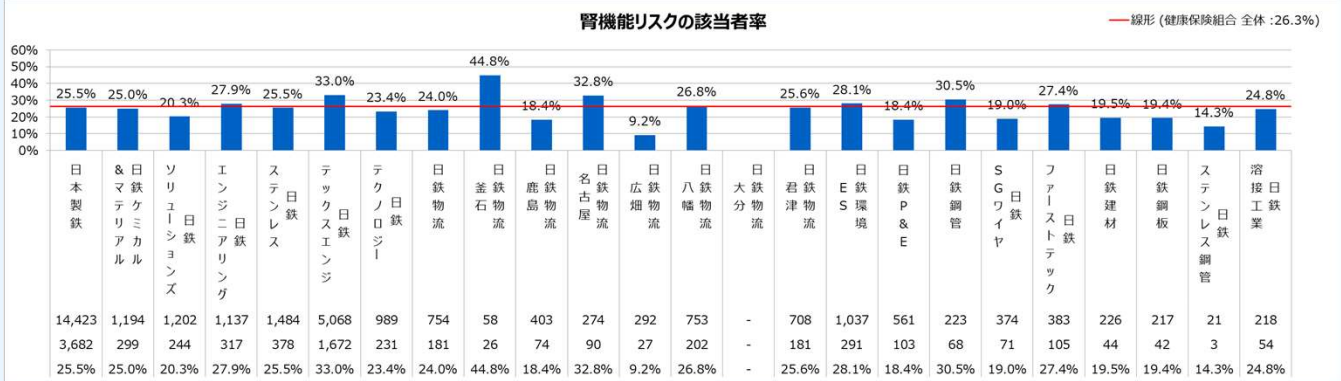
■ 腎機能リスクの該当者率 経年比較 別冊1（40歳以上） P.28



	正常域	保健指導	受診勧奨
eGFR	eGFR 60以上	eGFR 45以上	eGFR 45未満
尿蛋白	かつ 尿蛋白 -	かつ 尿蛋白 +- eGFR 45以上60未満 かつ 尿蛋白 -	又は 尿蛋白 1+以上

腎機能リスク者は保健指導以上の区分該当者
(eGFR 45以上 かつ 尿蛋白 +- または
eGFR 45以上60未満 かつ 尿蛋白 -)

■ 腎機能リスクの該当者率 事業所ごと（集計対象：被保険者） 別冊2



1. 健診に関する分析

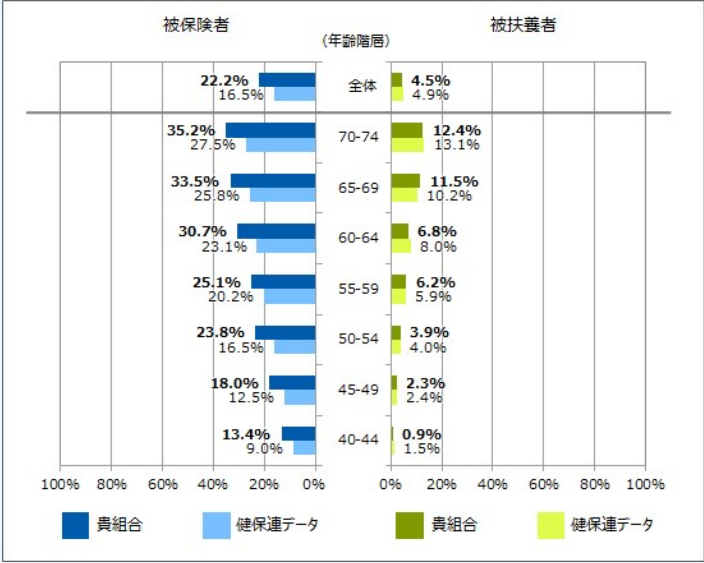
(3) メタボリックシンドロームの状況

- メタボリックシンドローム該当者率については、被保険者全体では「22.2%」で、健保連データを「5.7ポイント」上回っており、高い水準と評価できます。また、すべての年齢層で健保連データよりも高い水準です。
- 被扶養者全体では「4.5%」で、健保連データを「0.4ポイント」下回っています。
- 直近三カ年では、被保険者女性は増加傾向です。
- 事業所間で比較すると、「日鉄物流大分」が高い水準にあります。

※65-69歳、70-74歳については記述していません。

メタボリックシンドローム該当者

■ メタボリックシンドローム該当者率 健保連データとの比較 別冊1（40歳以上） P.18



■ メタボリックシンドローム該当者率 経年比較 別冊1（40歳以上） P.29

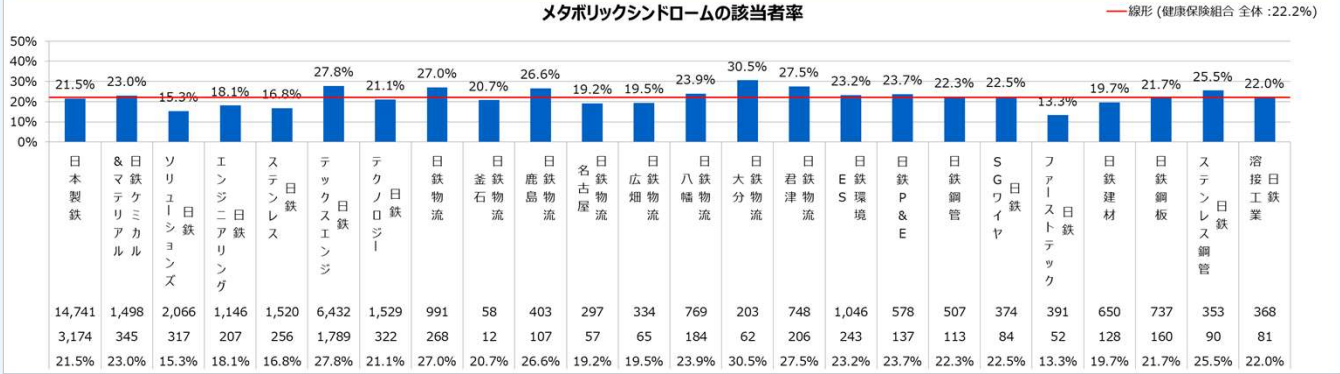


リスク項目	正常域
腹囲	男性：腹囲≧85cm 女性：腹囲≧90cm
血圧	①収縮期血圧：≧130mmHg ②拡張期血圧：≧85mmHg ③薬剤治療を受けている（問診より）
脂質	①空腹時中性脂肪：≧150mg/dL ②随時中性脂肪：≧150mg/dL ③HDLコレステロール：<40mg/dL ④薬剤治療を受けている（問診より）
血糖	①空腹時血糖：≧110mg/dL ②HbA1c：≧6.0% ③薬剤治療を受けている（問診より）

メタボリックシンドローム該当者は上記リスク項目の「腹囲」に該当し、かつ「血圧」「脂質」「血糖」のうち2つ以上のリスクに当てはまる者

※R6年度より「中性脂肪」が「空腹時中性脂肪」「随時中性脂肪」に区別されます。
・R5年度（2023年度）まで、中性脂肪を判定に使用
・R6年度（2024年度）から、空腹時中性脂肪、随時中性脂肪を判定に使用

■ メタボリックシンドローム該当者率 事業所ごと（集計対象：被保険者） 別冊2



1. 健診に関する分析

(3) メタボリックシンドロームの状況

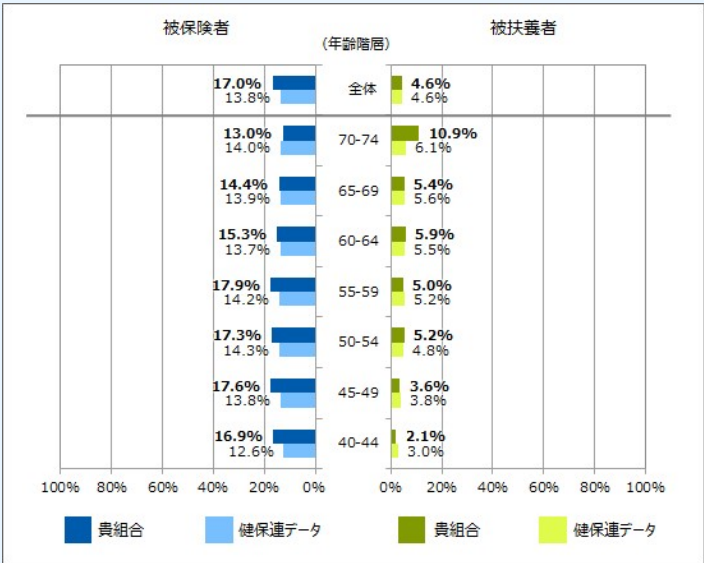
- メタボリックシンドローム予備群者率については、被保険者全体では「17.0%」で、健保連データを「3.2ポイント」上回っており、高い水準と評価できます。また、すべての年齢層で健保連データよりも高い水準です。
- 被扶養者全体では「4.6%」で、健保連データと同値です。

※65-69歳、70-74歳については記述していません。

メタボリックシンドローム予備群者

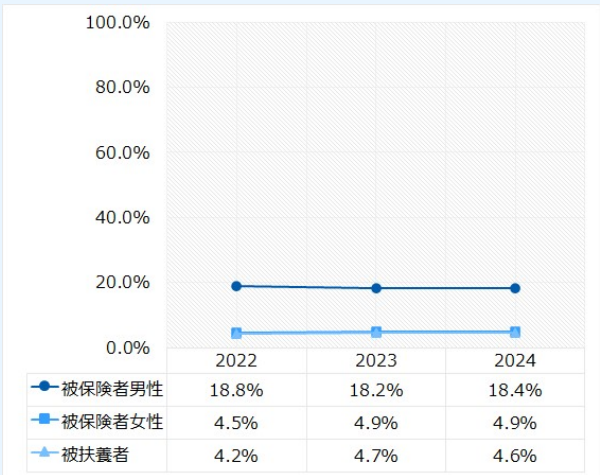
■ メタボリックシンドローム予備群者率 健保連データとの比較

別冊1（40歳以上） P.18



■ メタボリックシンドローム予備群者率 経年比較

別冊1（40歳以上） P.29



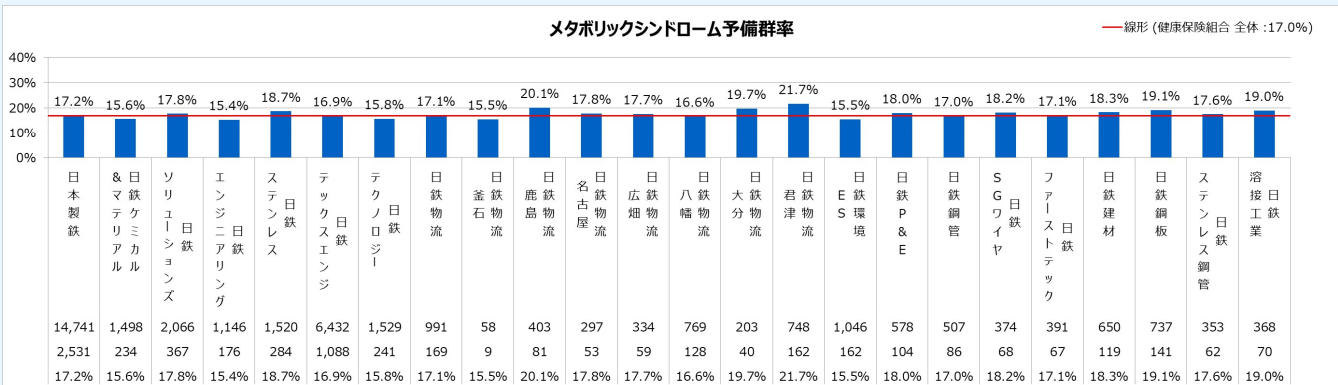
リスク項目	正常域
腹囲	男性：腹囲≧85cm 女性：腹囲≧90cm
①②③のいずれかに当てはまる場合	①収縮期血圧：≧130mmHg ②拡張期血圧：≧85mmHg ③薬剤治療を受けている（問診より）
脂質	①空腹時中性脂肪：≧150mg/dL ②随時中性脂肪：≧150mg/dL ③HDLコレステロール：<40mg/dL ④薬剤治療を受けている（問診より）
①②③④のいずれかに当てはまる場合	①空腹時血糖：≧110mg/dL ②HbA1c：≧6.0% ③薬剤治療を受けている（問診より）
血糖	①空腹時血糖：≧110mg/dL ②HbA1c：≧6.0% ③薬剤治療を受けている（問診より）
①②③のいずれかに当てはまる場合	

メタボリックシンドローム予備群該当者は上記リスク項目の「腹囲」に該当し、かつ「血圧」「脂質」「血糖」のうち1つのリスクに当てはまる者

※R6年度より「中性脂肪」が「空腹時中性脂肪」「随時中性脂肪」に区別されます。
・R5年度（2023年度）まで、中性脂肪を判定に使用
・R6年度（2024年度）から、空腹時中性脂肪、随時中性脂肪を判定に使用

■ メタボリックシンドローム予備群者率 事業所ごと（集計対象：被保険者）

別冊2



1. 健診に関する分析

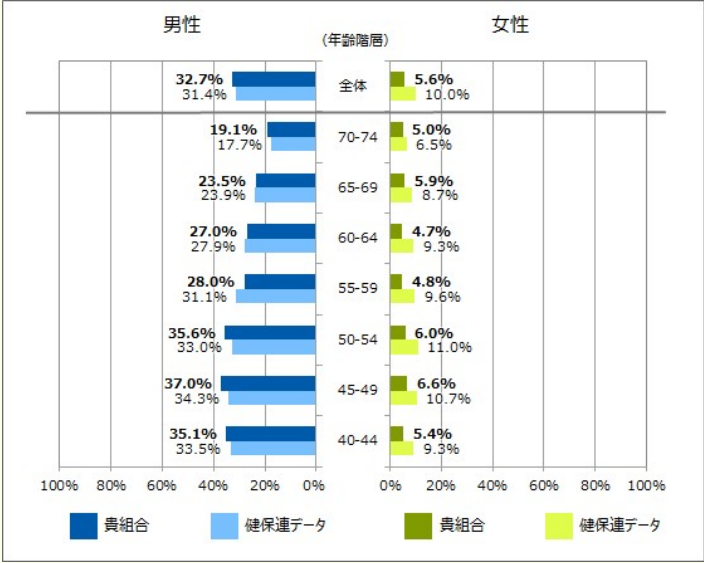
(4) 問診回答の状況（喫煙リスク）

- 喫煙リスクの該当者率については、男性では「32.7%」で、健保連データを「1.3ポイント」上回っています。
- 女性では「5.6%」で、健保連データを「4.4ポイント」下回っており、低い水準と評価できます。また、すべての年齢層で健保連データよりも低い水準です。
- 事業所間で比較すると、「日鉄物流釜石」「日鉄物流大分」「日鉄物流鹿島」が高い水準にあります。

※65-69歳、70-74歳については記述していません。

現在、
たばこを習慣的に吸っている（はい）

■ 喫煙リスクの該当者率 健保連データとの比較 別冊1（40歳以上） P.23



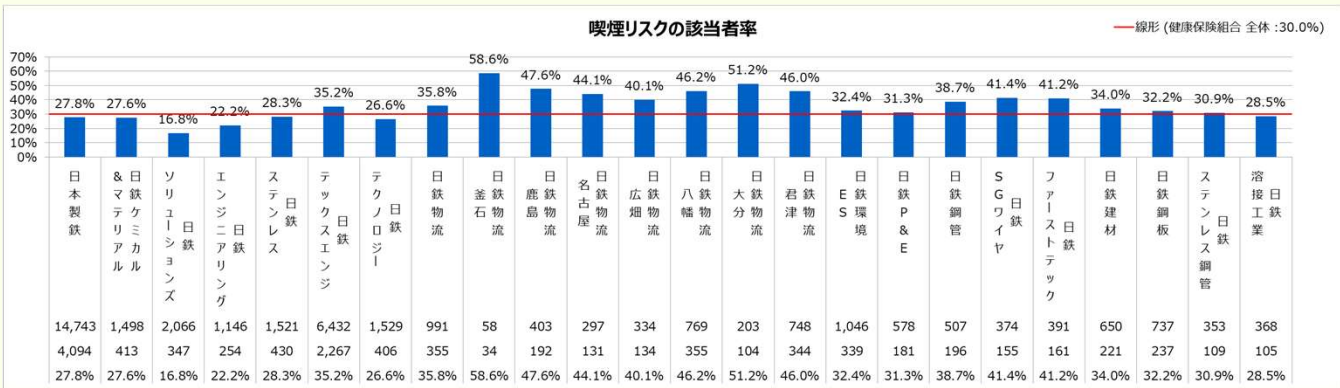
■ 喫煙リスクの該当者率 経年比較 別冊1（40歳以上） P.31



R6年度（2024年度）から、設問「現在、たばこを習慣的に吸っていますか。」の選択肢が変更されました。
（変更後）R6年度～（2024年度～）
回答「①はい ②以前は吸っていたが、最近1か月間は吸っていない ③いいえ」
（変更前）～R5年度（～2023年度）
回答「①はい ②いいえ」

※1 下線部が回答内容に変更があった箇所です。
※2 青文字の回答者を「リスクあり」と定義しています。

■ 喫煙リスクの該当者率 事業所ごと（集計対象：被保険者） 別冊2



1. 健診に関する分析

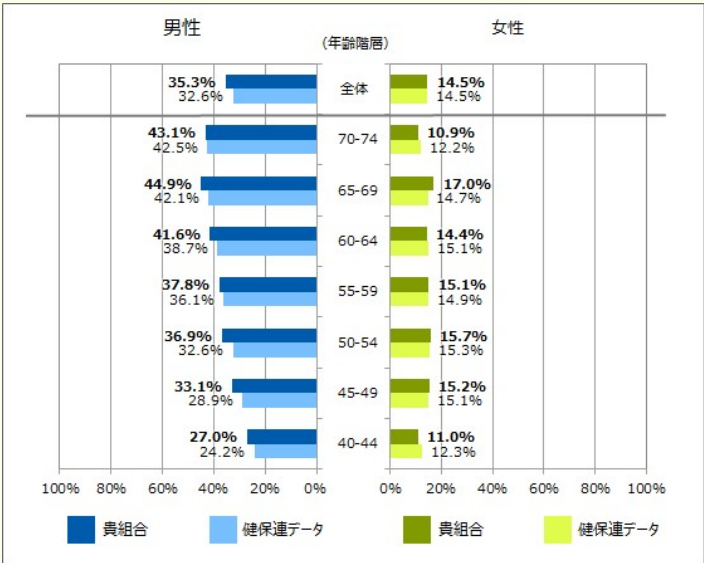
(4) 問診回答の状況（飲酒頻度リスク）

- 飲酒頻度リスクの該当者率については、男性では「35.3%」で、健保連データを「2.7ポイント」上回っています。
- 女性では「14.5%」で、健保連データと同値です。
- 事業所間で比較すると、「日鉄物流釜石」が高い水準にあります。

※65-69歳、70-74歳については記述していません。

お酒（日本酒、焼酎、ビール、洋酒など）を飲む頻度はどのくらいですか（毎日・週5〜6日）

■ 飲酒頻度リスクの該当者率 健保連データとの比較 別冊1（40歳以上） P.23



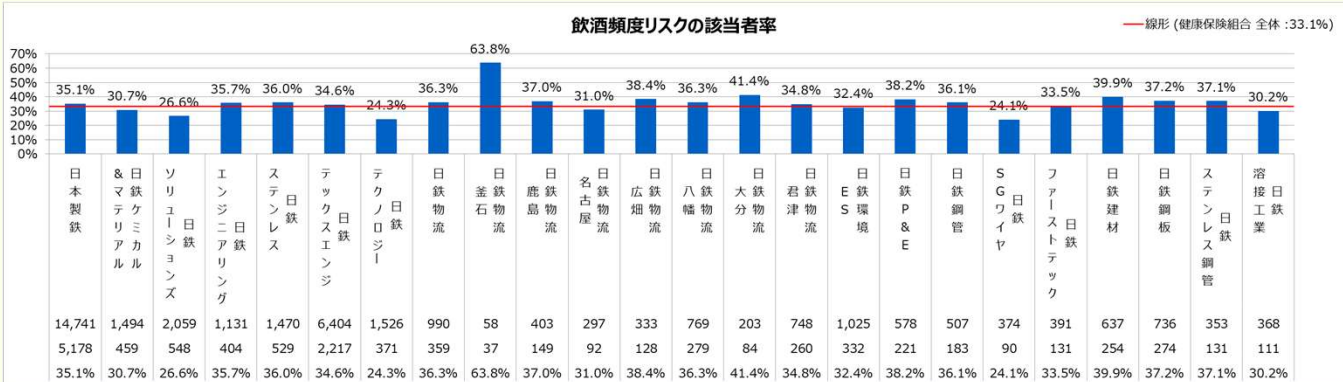
■ 飲酒頻度リスクの該当者率 経年比較 別冊1（40歳以上） P.31



R6年度（2024年度）から、設問「お酒（日本酒、焼酎、ビール、洋酒など）を飲む頻度はどのくらいですか（毎日・週5〜6日）」の選択肢が変更されました。
(変更後) R6年度～(2024年度～)
回答「①毎日 ②週5〜6日 ③週3〜4日 ④週1〜2日 ⑤月に1〜3日 ⑥月に1日未満 ⑦やめた ⑧飲まない(飲めない)」
(変更前) ~R5年度(～2023年度)
回答「①毎日 ②時々 ③ほとんど飲まない(飲めない)」

※1 下線部が回答内容に変更があった箇所です。
※2 青文字の回答者を「リスクあり」と定義しています。

■ 飲酒頻度リスクの該当者率 事業所ごと（集計対象：被保険者） 別冊2



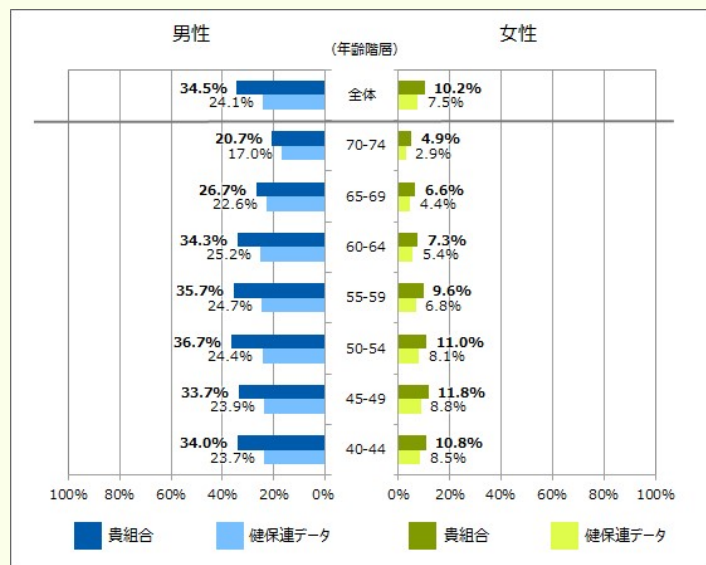
1. 健診に関する分析

(4) 問診回答の状況（飲酒量リスク）

- 飲酒量リスクの該当者率については、男性では「34.5%」で、健保連データを「10.4ポイント」上回っており、高い水準と評価できます。また、すべての年齢層で健保連データよりも高い水準です。
- 女性では「10.2%」で、健保連データを「2.7ポイント」上回っており、高い水準と評価できます。また、すべての年齢層で健保連データよりも高い水準です。
- 直近三カ年では、被保険者男性でわずかに増加傾向です。
- 事業所間で比較すると、「日鉄物流釜石」「日鉄エンジニアリング」「日鉄P&E」が高い水準にあります。

※65-69歳、70-74歳については記述していません。

■ 飲酒量リスクの該当者率 健保連データとの比較 別冊1（40歳以上） P.23



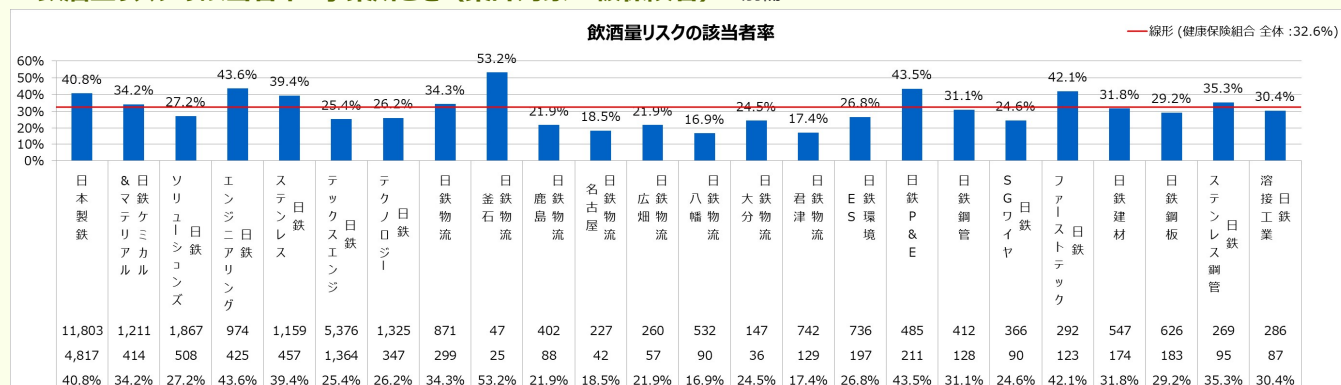
■ 飲酒量リスクの該当者率 経年比較 別冊1（40歳以上） P.31



R6年度（2024年度）から、設問「飲酒日の1日当たりの飲酒量」の選択肢が変更されました。
（変更後）R6年度～（2024年度～）
回答「① 1合未満 ② 1～2合未満 ③ 2～3合未満 ④ 3～5合未満 ⑤ 5合以上」
（変更前）～R5年度（～2023年度）
回答「① 1合未満 ② 1～2合未満 ③ 2～3合未満 ④ 3合以上」

※1 下線部が回答内容に変更があった箇所です。
※2 青文字の回答者を「リスクあり」と定義しています。

■ 飲酒量リスクの該当者率 事業所ごと（集計対象：被保険者） 別冊2



3. 健診に関する分析

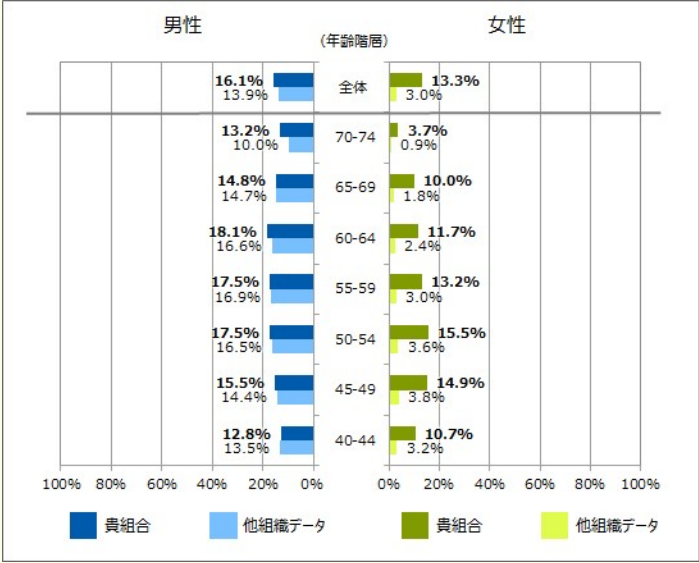
(4) 問診回答の状況（飲酒習慣リスク）

- 飲酒習慣リスクの該当者率については、男性では「16.1%」で、他組織データを「0.8ポイント」下回っています。
- 女性では「13.3%」で、他組織データを「8.8ポイント」上回っており、高い水準と評価できます。また、すべての年齢層で他組織データよりも高い水準です。
- 直近三カ年では、被保険者女性が増加傾向です。
- 事業所間で比較すると、「日鉄物流釜石」「日鉄P&E」「日鉄エンジニアリング」が高い水準にあります。

※65-69歳、70-74歳については記述していません。

飲酒習慣リスク該当者（※「多量飲酒群」に該当する者の数）

■ 飲酒習慣リスクの該当者率 健保連データとの比較 別冊1（40歳以上） P.25



■ 飲酒習慣リスクの該当者率 経年比較 別冊1（40歳以上） P.32

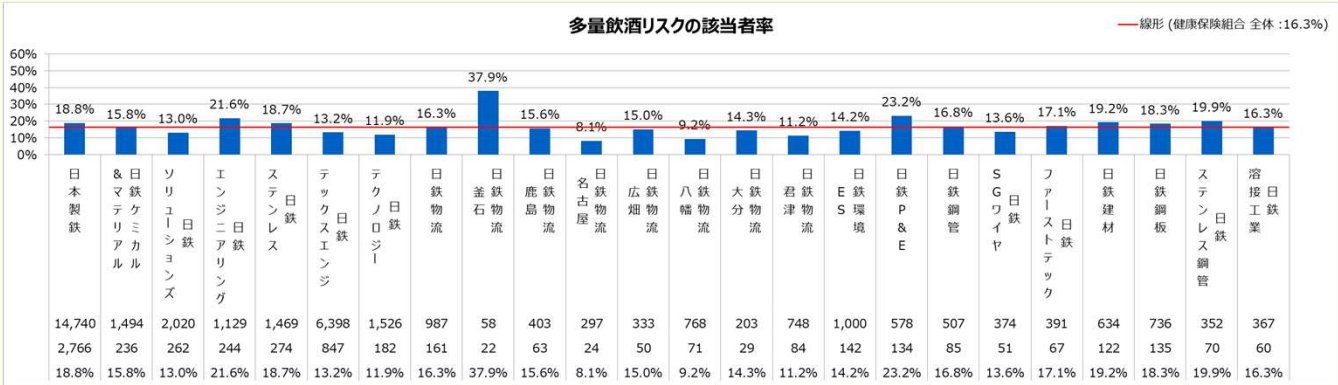


■ 「多量飲酒群」の該当項目の割合 別冊1（40歳以上） P.27

飲酒頻度	飲酒量	割合	
		男性	女性
毎日	5合以上	0.2%	0.1%
	3～5合未満	2.1%	0.4%
	2～3合未満	8.2%	1.4%
	1～2合未満	11.7%	4.3%
	1合未満	2.2%	2.5%
週5～6日	5合以上	0.0%	0.0%
	3～5合未満	0.7%	0.2%
	2～3合未満	3.1%	0.6%
	1～2合未満	5.9%	2.6%
	1合未満	1.4%	2.6%
週3～4日	5合以上	0.1%	0.0%
	3～5合未満	1.0%	0.2%
	2～3合未満	2.7%	0.7%
	1～2合未満	5.5%	2.6%
	1合未満	1.8%	4.4%
週1～2日	5合以上	0.3%	0.0%
	3～5合未満	1.4%	0.2%
	2～3合未満	3.1%	0.8%
	1～2合未満	7.6%	4.1%
	1合未満	3.6%	7.9%
月に1～3日	5合以上	0.4%	0.0%
	3～5合未満	1.3%	0.2%
	2～3合未満	2.4%	0.8%
	1～2合未満	4.4%	3.4%
	1合未満	2.4%	8.2%
その他		26.6%	51.7%

R6年度（2024年度）から、「多量飲酒群」の定義が変更されています。判定に使用する問診内容が変更され、またリスクの判定基準が性別で異なるようになりました。（別冊4 p.7参照）

■ 飲酒習慣リスクの該当者率 事業所ごと（集計対象：被保険者） 別冊2



3. 健診に関する分析

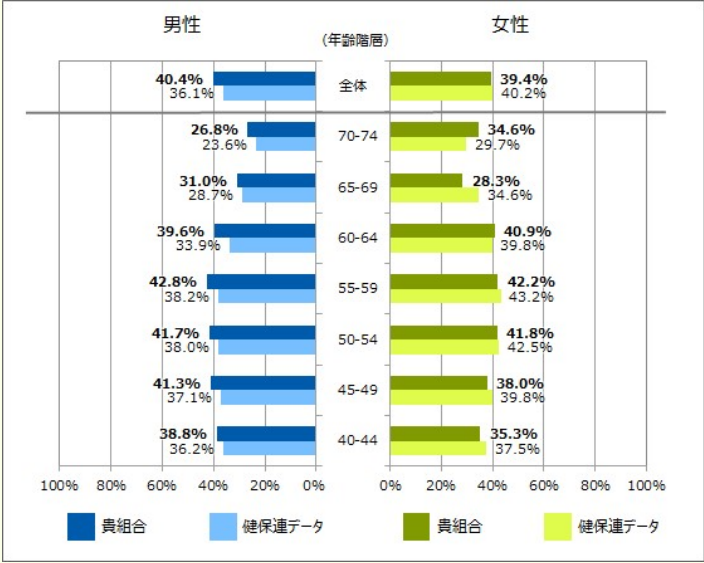
(4) 問診回答の状況（睡眠リスク）

- 睡眠リスクの該当者率については、男性では「40.4%」で、健保連データを「4.3ポイント」上回っており、高い水準と評価できます。特に「45-49歳」「55-59歳」「60-64歳」の年齢層で健保連データよりも高い水準です。
- 女性では「39.4%」で、健保連データを「0.8ポイント」下回っています。
- 事業所間で比較すると、「日鉄鋼管」が高い水準にあります。

※65-69歳、70-74歳については記述していません。

睡眠で休養が十分とれている（いいえ）

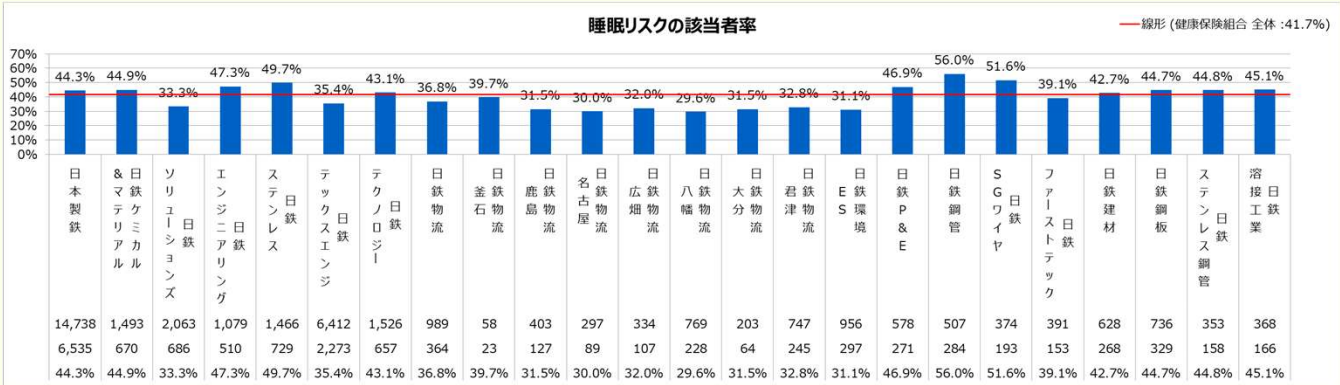
■ 睡眠リスクの該当者率 健保連データとの比較 別冊1（40歳以上） P.23



■ 睡眠リスクの該当者率 経年比較 別冊1（40歳以上） P.31



■ 睡眠リスクの該当者率 事業所ごと（集計対象：被保険者） 別冊2



4. 特定保健指導に関する分析

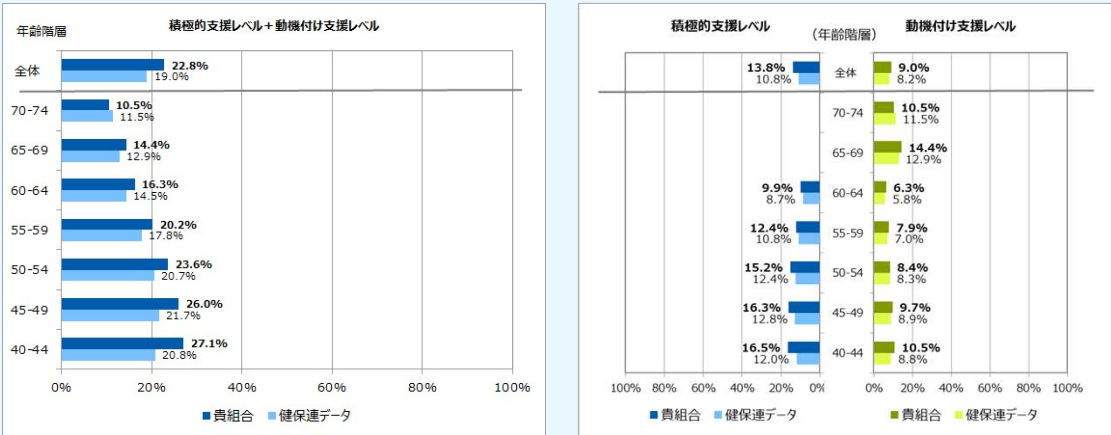
(1) 特定保健指導対象者の割合（被保険者）

- 被保険者の特定保健指導対象者の割合については、積極的支援+動機付け支援全体では「22.8%」で、健保連データを「3.8ポイント」上回っており、高い水準と評価できます。また、すべての年齢層で健保連データよりも高い水準です。
- 積極的支援では「13.8%」で、動機付け支援では「9.0%」です。
- 事業所間で比較すると、積極的支援+動機付け支援では「日鉄物流大分」が高い水準にあります。
- 積極的支援では「日鉄物流大分」「日鉄鋼管」「日鉄ステンレス鋼管」が高い水準にあります。
- 動機付け支援では「日鉄溶接工業」が高い水準にあります。

※65-69歳、70-74歳については記述していません。

特定保健指導

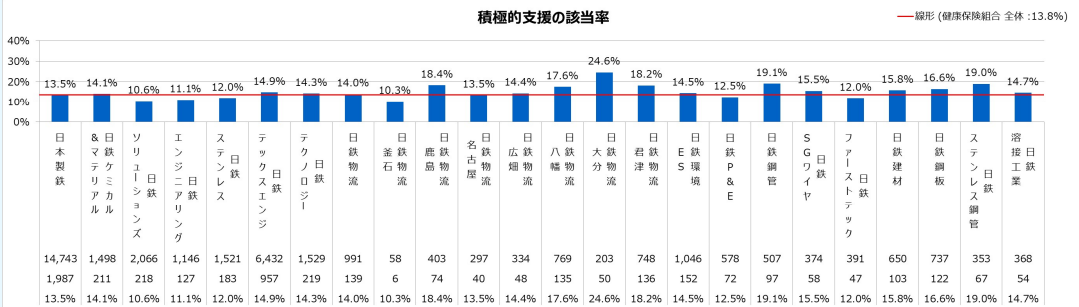
■ 特定保健指導対象者の割合（集計対象：被保険者） 別冊1（40歳以上） P.35



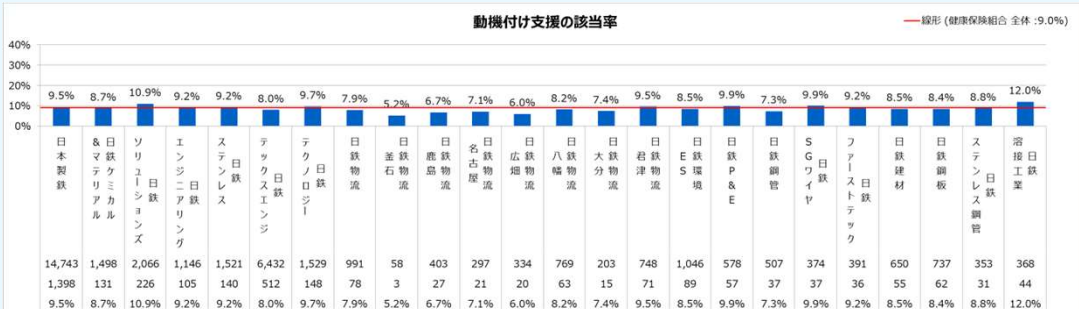
■ 特定保健指導対象者の割合 事業所別（集計対象：被保険者） 別冊2



■ 特定保健指導対象者の割合 事業所別【積極的支援レベル】（集計対象：被保険者） 別冊2



■ 特定保健指導対象者の割合 事業所別【動機付け支援レベル】（集計対象：被保険者） 別冊2



4. 特定保健指導に関する分析

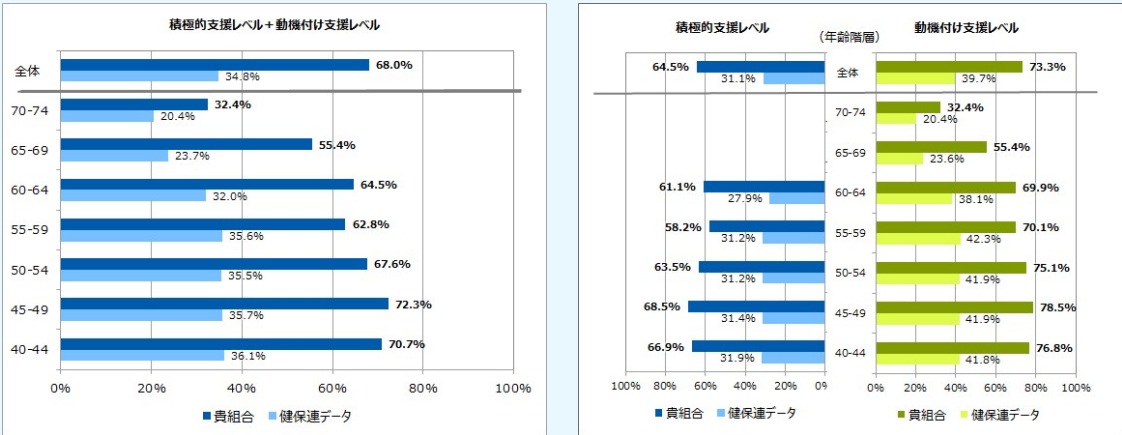
(2) 特定保健指導実施率（被保険者）

- 被保険者の特定保健指導実施率については、積極的支援+動機付け支援全体では「68.0%」で、健保連データを「33.2ポイント」上回っており、高い水準と評価できます。また、すべての年齢層で健保連データよりも高い水準です。
- 積極的支援では「64.5%」で、健保連データを「33.4ポイント」上回っており、高い水準と評価できます。また動機付け支援では「73.3%」で、健保連データを「33.6ポイント」上回っており、高い水準と評価できます。積極的支援、動機づけ支援ともにすべての年齢層で健保連データよりも高い水準です。
- 事業所間で比較すると、積極的支援+動機付け支援では「日鉄物流名古屋」「日鉄物流鹿島」が高い水準にあります。
- 積極的支援では「日鉄物流鹿島」「日鉄物流名古屋」「日本製鉄」が高い水準にあります。

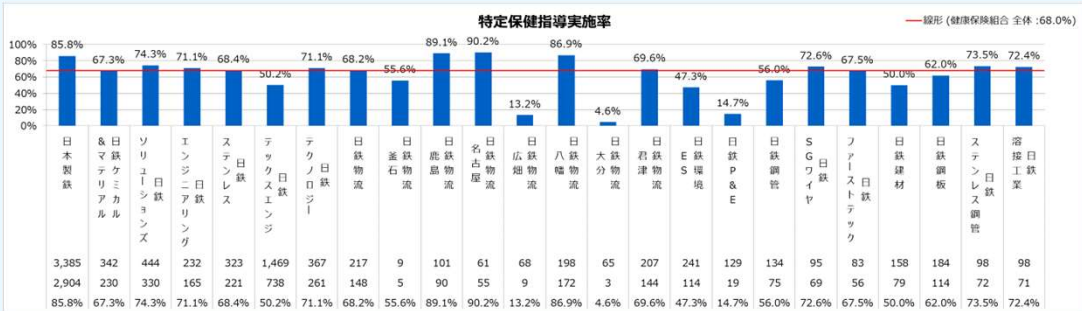
※65-69歳、70-74歳については記述していません。

特定保健指導

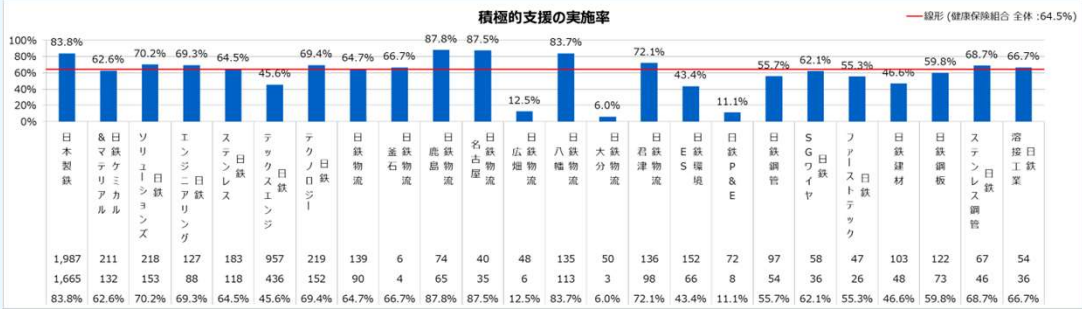
■ 特定保健指導実施率（集計対象：被保険者） 別冊1（40歳以上） P.35



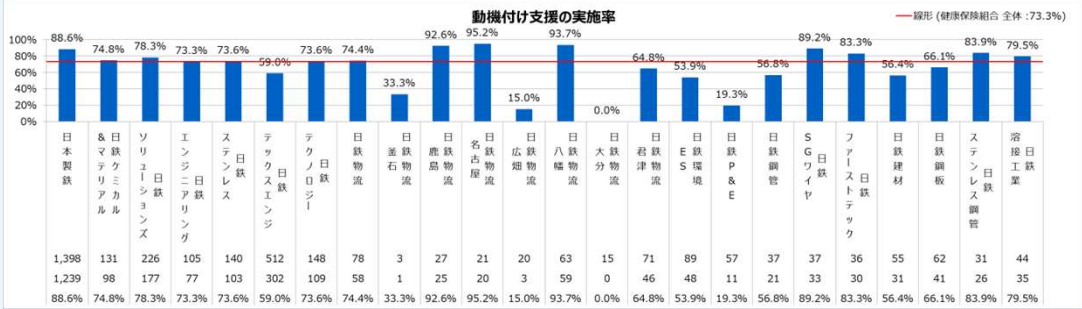
■ 特定保健指導実施率 事業所別（集計対象：被保険者） 別冊2



■ 特定保健指導実施率 事業所別【積極的支援レベル】（集計対象：被保険者） 別冊2



■ 特定保健指導実施率 事業所別【動機付け支援レベル】（集計対象：被保険者） 別冊2



4. 特定保健指導に関する分析

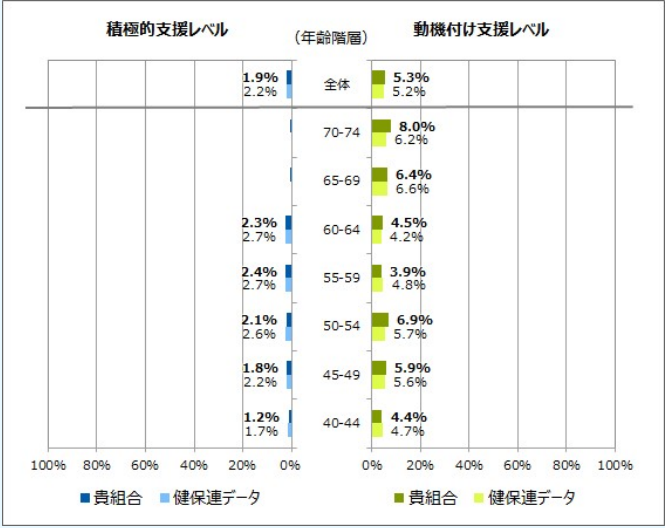
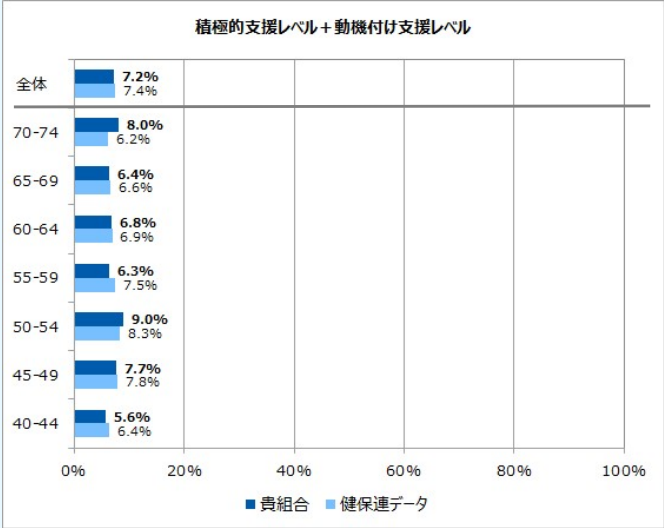
(3) 特定保健指導対象者の割合・実施率（被扶養者）

- 被扶養者の特定保健指導対象者の割合については、積極的支援+動機付け支援全体では「7.2%」（積極的支援：1.9%、動機付け支援：5.3%）で、健保連データを「0.2ポイント」下回っています。特に「40-44歳」「55-59歳」で健保連データよりも低い水準です。
- 被扶養者の特定保健指導実施率については、積極的支援+動機付け支援全体では「33.1%」で、健保連データを「14.5ポイント」上回っており、高い水準と評価できます。また、すべての年齢層で健保連データよりも高い水準です。
- 積極的支援では「32.9%」で、健保連データを「18.2ポイント」上回っており、高い水準と評価できます。動機付け支援では「33.2%」で、健保連データを「13.0ポイント」上回っており、高い水準と評価できます。積極的支援、動機付け支援ともにすべての年齢層で健保連データよりも高い水準です。

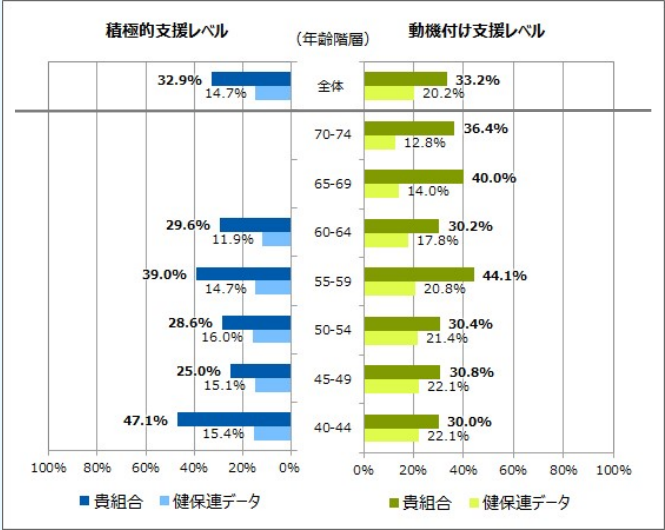
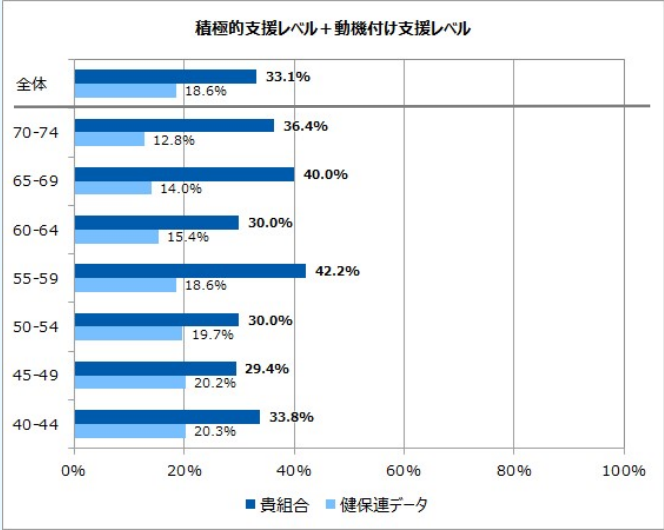
※65-69歳、70-74歳については記述していません。

特定保健指導

■ 特定保健指導対象者の割合（集計対象：被扶養者） 別冊1（40歳以上） P.36



■ 特定保健指導実施率（集計対象：被扶養者） 別冊1（40歳以上） P.36



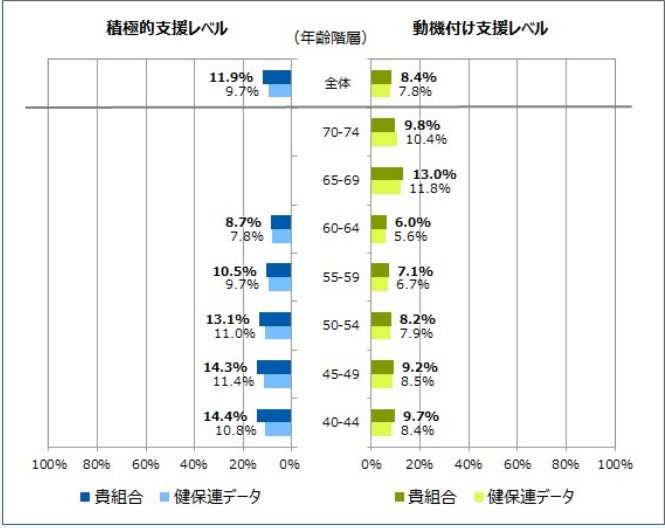
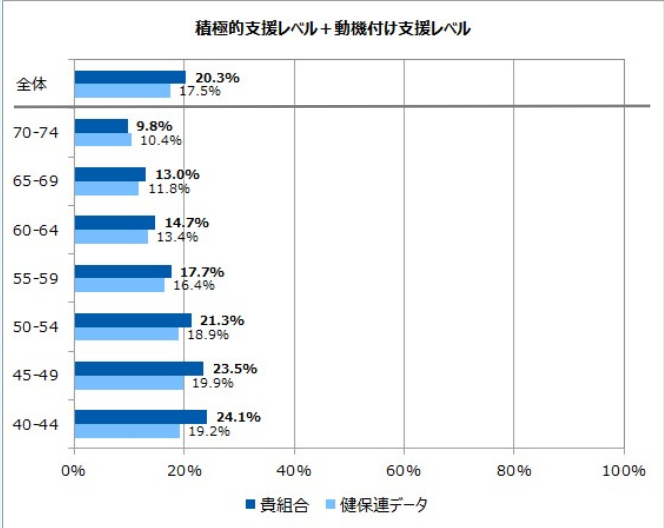
4. 特定保健指導に関する分析

(4) 特定保健指導対象者の割合・実施率（被保険者・被扶養者）

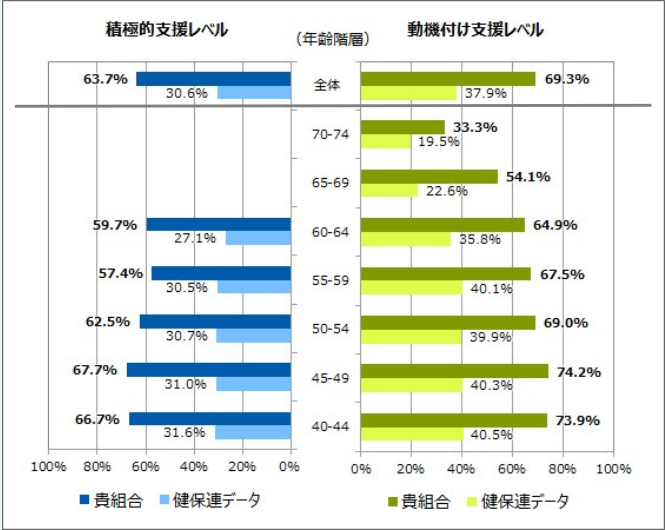
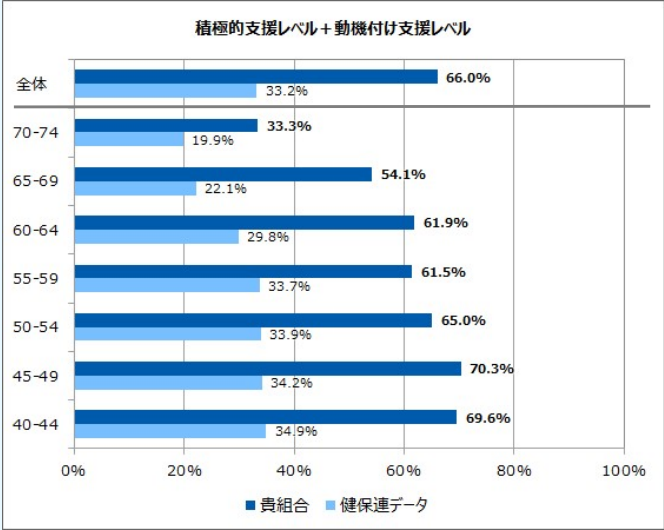
- 被保険者・被扶養者全体の特定保健指導対象者の割合については、積極的支援+動機付け支援全体では「20.3%」（積極的支援：11.9%、動機付け支援：8.4%）で、健保連データを「2.8ポイント」上回っており、高い水準と評価できます。特に「40-44歳」「45-49歳」「50-54歳」の年齢層で健保連データよりも高い水準です。
- 被保険者・被扶養者全体の特定保健指導実施率は、積極的支援+動機付け支援全体では「66.0%」で、健保連データを「32.8ポイント」上回っており、高い水準と評価できます。また、すべての年齢層で健保連データよりも高い水準です。
- 積極的支援では「63.7%」で、健保連データを「33.8ポイント」上回っており、高い水準と評価できます。動機付け支援では「69.3%」で、健保連データを「32.0ポイント」上回っており、高い水準と評価できます。積極的支援、動機づけ支援ともにすべての年齢層で健保連データよりも高い水準です。

※65-69歳、70-74歳については記述していません。

■ 特定保健指導対象者の割合（集計対象：被保険者・被扶養者） 別冊1（40歳以上） P.37



■ 特定保健指導実施率（集計対象：被保険者・被扶養者） 別冊1（40歳以上） P.37



特定保健指導

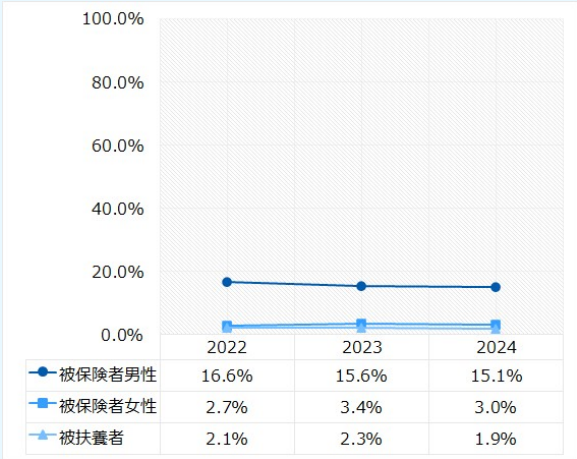
4. 特定保健指導に関する分析

(5) 特定保健指導の経年比較

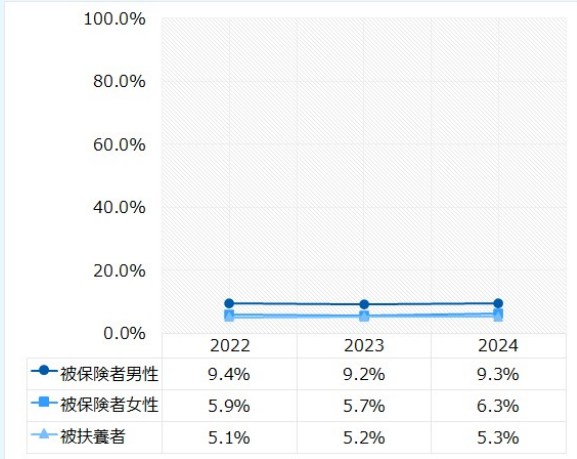
- 直近三カ年では、特定保健指導利用率は、積極的支援では被扶養者は増加傾向です。動機付け支援では被保険者男性は増加傾向です。
- 特定保健指導実施率は、積極的支援では被扶養者は増加傾向です。動機付け支援では被保険者男性は増加傾向です。
- 今年度の積極的、動機付け支援の支援利用者は、すべての方が実施完了まで行われていることが確認できます。

特定保健指導

■ 特定保健指導対象者の割合 経年比較【積極的支援レベル】



■ 特定保健指導対象者の割合 経年比較【動機付け支援レベル】



■ 特定保健指導利用率 経年比較【積極的支援レベル】



■ 特定保健指導利用率 経年比較【動機付け支援レベル】



■ 特定保健指導実施率 経年比較【積極的支援レベル】



■ 特定保健指導実施率 経年比較【動機付け支援レベル】



該当率 = 指導対象者数 ÷ 評価対象者数 利用率 = (完了者数 + 未完了者数) ÷ 指導対象者数 実施率 = 完了者数 ÷ 指導対象者数 別冊1 (40歳以上) P.38

5. 医療費に関する分析

(1) 医療費総額・1人当たり医療費

- 2024年度の医療費総額は「2,791,224万円」です。
- 金額階層別医療費は、年間100万円以上の医療費を使っている人の割合は全体の「2.0%」で、金額ベースでは「37.8%」です。
- 一方、年間10万円未満の人の割合は全体の「68.4%」で、金額ベースでは「15.4%」です。
- 1人当たり年間医療費は「175,768円」で、前年度より増加しています。
- 疾病区分別の医療費総額は、「生活習慣病」と「新生物」が上位を占めます。

■ 医療費総額 別冊1（40歳以上） P.39

		2024年度	2023年度
医療費総額	レセプト金額	2,791,224万円	2,788,271万円
	件数	2,107,605件	2,081,303件
	診療実日数	2,829,996日	2,809,966日

■ 金額階層別医療費 別冊1（40歳以上） P.40

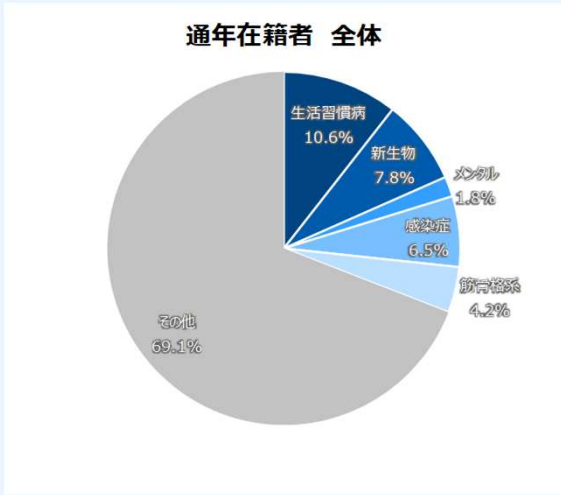
		2024年度				2023年度			
		医療費総額における割合				医療費総額における割合			
金額階層	100万円以上/年	金額	37.8%	人数	2.0%	金額	36.5%	人数	1.9%
	10万円未満/年	金額	15.4%	人数	68.4%	金額	15.7%	人数	67.4%

■ 1人当たり医療費 他組織データとの比較 別冊1（40歳以上） P.41

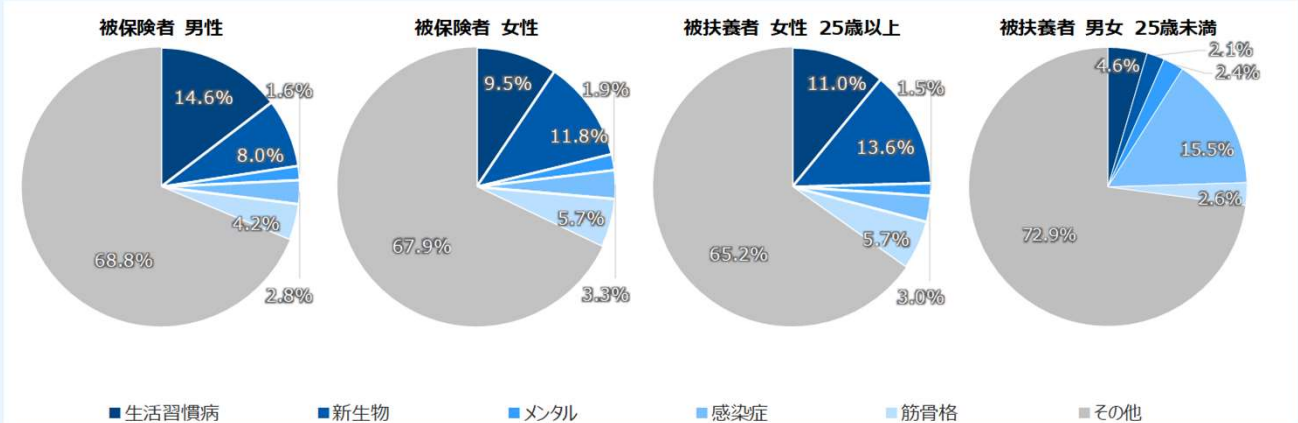
		2024年度	2023年度	2023年度他組織データ
1人（日、件） 当たり医療費	医療費/人	175,768円	174,512円	185,874円
	件数/人	13.3件	13.0件	13.2件
	日数/件	1.3日	1.4日	1.3日
	医療費/日	9,863円	9,923円	10,465円

■ 疾病区分（※）別医療費の割合 別冊1（40歳以上） P.48

※本資料 P.4 分析の前提条件 ■レセプトの分析方法 4.を参照



■ 疾病区分（※）別医療費の割合 資格カテゴリごと 別冊1（40歳以上） P.48



医療費総額・1人当たり医療費

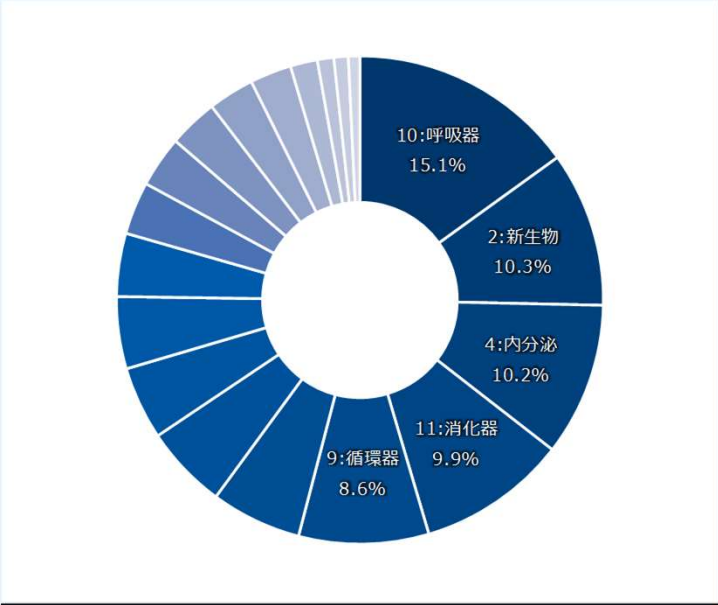
5. 医療費に関する分析

(2) 疾病大分類別医療費と疾病区分別医療費

- 疾病大分類別の医療費総額は、「10:呼吸器」「2:新生物」「4:内分泌」の順に高く、3分類合計で全体の「35.5%」を占めています。
- 疾病区分別の1人当たり年間医療費は、被保険者では「生活習慣病」「新生物」「筋骨格」、被扶養者では「感染症」「生活習慣病」「新生物」が上位を占めます。

疾病大分類別医療費と疾病区分別医療費

■ 疾病大分類別医療費の割合 別冊1（40歳以上） P.44



分類区分	レセプト金額	構成比
10:呼吸器	319,898万円	15.1%
2:新生物	218,178万円	10.3%
4:内分泌	215,612万円	10.2%
11:消化器	210,781万円	9.9%
9:循環器	183,330万円	8.6%

■ 1人当たり年間医療費 疾病区分（※）別 別冊1（40歳以上） P.48

資格カテゴリ	人数	生活習慣病	新生物	メンタル	感染症	筋骨格
被保険者	79,965人	23,689円	14,515円	2,847円	4,845円	7,591円

資格カテゴリ	人数	生活習慣病	新生物	メンタル	感染症	筋骨格
被扶養者	78,837人	13,399円	12,952円	3,634円	17,970円	7,186円

※本資料 P.4 分析の前提条件 ■レセプトの分析方法 3.4.を参照

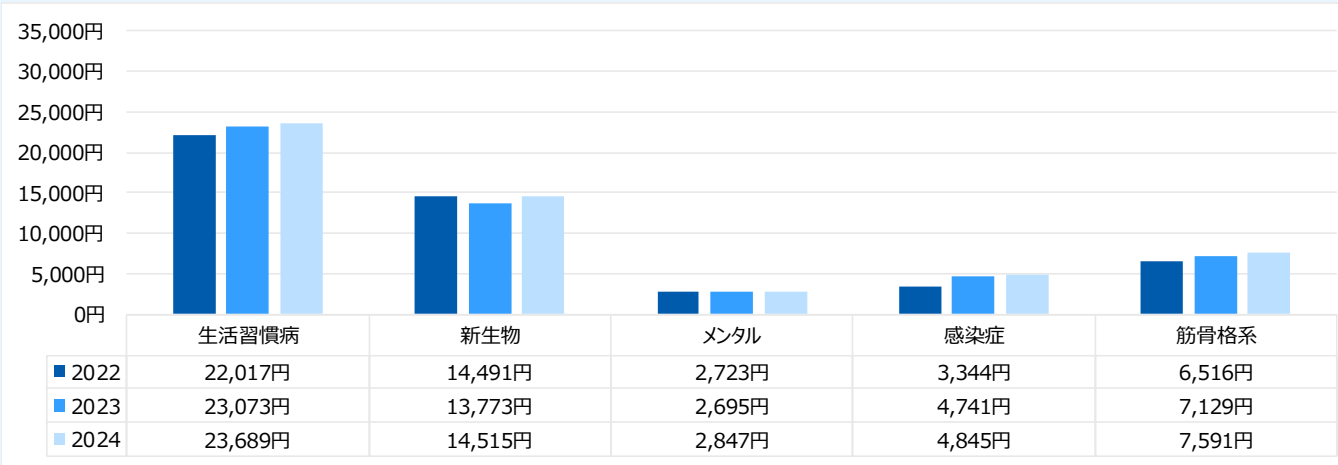
5. 医療費に関する分析

(3) 疾病区分別医療費の経年比較

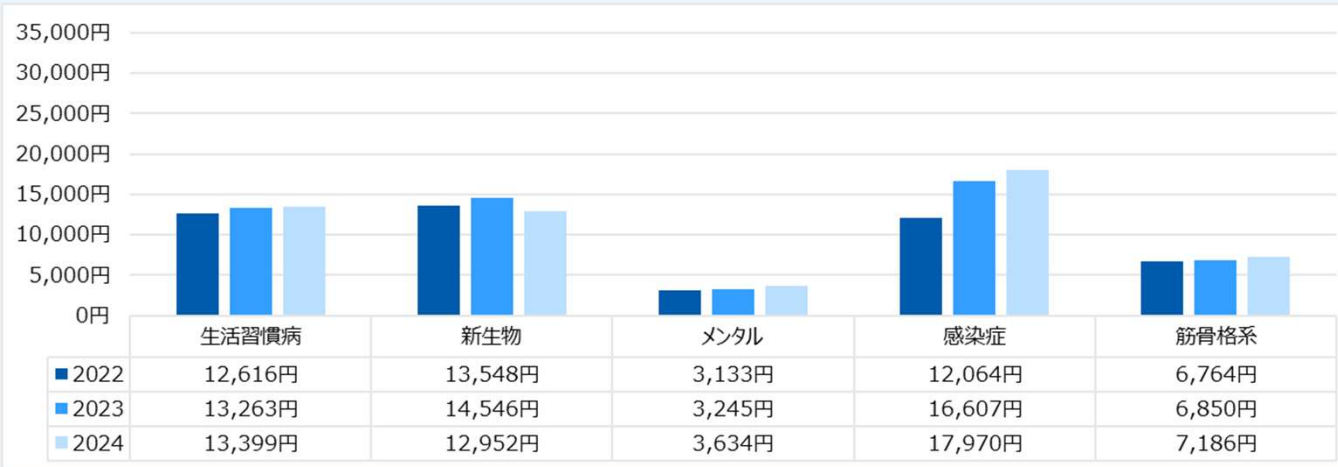
- 被保険者では「生活習慣病」、被扶養者では「感染症」の1人当たり平均医療費が高くなっています。
- 直近三カ年での疾病区分別の1人当たり年間医療費は、被保険者では「感染症」が増加傾向です。被扶養者では「感染症」が増加傾向です。

疾病区分別医療費の経年推移

■ 疾病区分（※）別医療費 経年比較（集計対象：被保険者） 別冊1（40歳以上） P.58



■ 疾病区分（※）別医療費 経年比較（集計対象：被扶養者） 別冊1（40歳以上） P.58



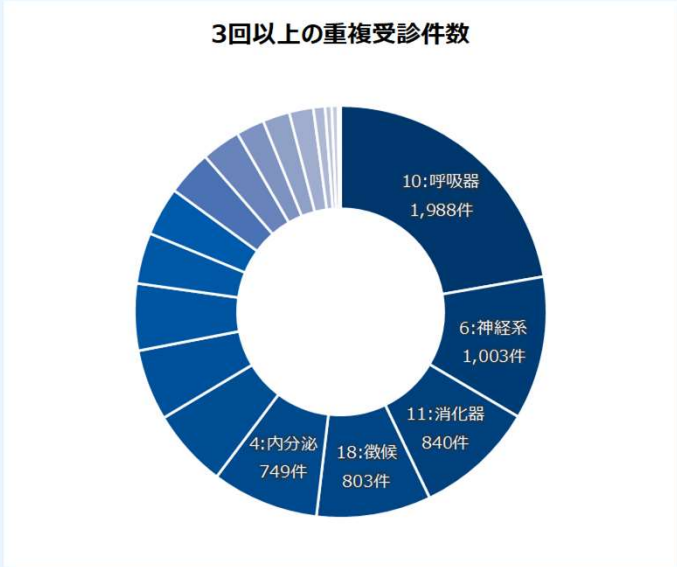
※本資料 P.4 分析の前提条件 ■レセプトの分析方法 4.を参照

5. 医療費に関する分析

(4) 重複受診・頻回受診の状況

- 3回以上の重複受診は、疾病大分類別では「10:呼吸器」が最も件数が多いです。
- 頻回受診は、上位10名のカテゴリー・属性情報別では、被保険者で60代が多いです。

■ 疾病大分類（※）別重複受診件数 別冊1（40歳以上） P.49

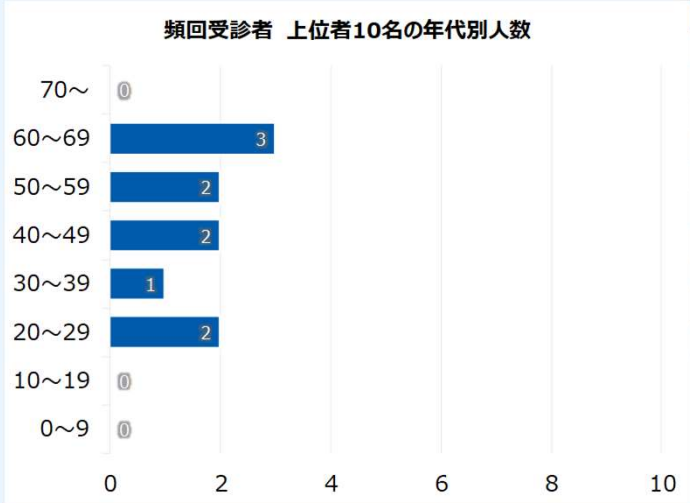


疾病大分類	1回以上の受診件数	3回以上の重複受診件数	
	件数	件数	割合
10:呼吸器	846,685件	1,988件	0.2%
6:神経系	121,541件	1,003件	0.8%
11:消化器	312,285件	840件	0.3%
18:徴候	150,734件	803件	0.5%
4:内分泌	303,407件	749件	0.2%
12:皮膚	293,373件	549件	0.2%
13:筋骨格	218,052件	497件	0.2%
19:損傷	80,204件	468件	0.6%
9:循環器	211,255件	357件	0.2%
5:精神	132,778件	341件	0.3%
2:新生物	93,741件	317件	0.3%
7:眼	233,928件	274件	0.1%
1:感染症	164,779件	198件	0.1%
14:腎尿	119,132件	189件	0.2%
17:先天奇形	12,842件	169件	1.3%
8:耳	78,915件	82件	0.1%
3:血液	48,781件	46件	0.1%
15:妊娠	6,231件	44件	0.7%
16:周産期	2,970件	18件	0.6%

重複受診・頻回受診

受診件数：単月内での同名疾病による受診件数をカウントしたものです。
（例）感染症による受診が4月に1回、5月に2回、6月に1回の人が出た場合、受診件数「1」が2件、受診件数「2」が1件とカウントされます。
※本資料 P.4 分析の前提条件 ■レセプトの分析方法 3.を参照

■ 頻回受診者数 別冊1（40歳以上） P.50



No	性別	被保／被扶	年齢	合計
1	女性	被扶	48歳	363日
2	男性	被保	66歳	270日
3	男性	被保	28歳	244日
4	男性	被扶	31歳	241日
5	男性	被扶	29歳	235日
6	男性	被保	51歳	231日
7	男性	被保	65歳	228日
8	男性	被保	49歳	214日
9	男性	被保	50歳	213日
10	男性	被保	60歳	213日

頻回受診上位者：2024年度の総受診日数を算出し、上位10名の状況を出力したものです。

5. 医療費に関する分析

(5) 重複投薬率

- 年度内に同一の月で3件以上の医療機関から同じ薬効の薬剤を処方されている患者の割合は「0.3%」です。
- 重複投薬該当者の特徴は平均年齢11.9歳、男性比率57.3%です。

■ 重複投薬該当者割合 別冊1（40歳以上） P.51

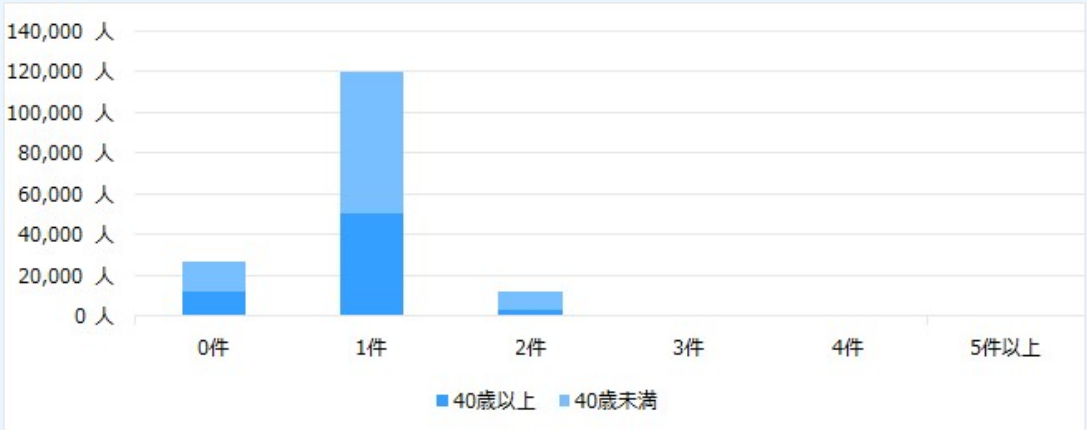
貴組合 0.3%

		人数	該当率	平均年齢	男性比率
40歳以上	重複投薬該当者	59 人	0.1%	51.1 歳	59.3%
	対象者	65,474 人	100.0%	52.1 歳	62.5%
40歳未満	重複投薬該当者	454 人	0.5%	6.8 歳	57.0%
	対象者	93,328 人	100.0%	20.1 歳	60.4%
全年齢	重複投薬該当者	513 人	0.3%	11.9 歳	57.3%
	対象者	158,802 人	100.0%	33.3 歳	61.3%

重複投薬状況

■ 同一月に同一成分の薬剤を投与された医療機関件数（年度内の最大件数）別の人数分布 別冊1（40歳以上） P.51

		合計	0件	1件	2件	3件	4件	5件以上
40歳以上	人数	65,474 人	12,017 人	50,612 人	2,786 人	52 人	5 人	2 人
	割合	100.0%	18.4%	77.3%	4.3%	0.1%	0.0%	0.0%
40歳未満	人数	93,328 人	14,526 人	69,186 人	9,162 人	438 人	16 人	0 人
	割合	100.0%	15.6%	74.1%	9.8%	0.5%	0.0%	0.0%
全年齢	人数	158,802 人	26,543 人	119,798 人	11,948 人	490 人	21 人	2 人
	割合	100.0%	16.7%	75.4%	7.5%	0.3%	0.0%	0.0%



対象者（母数） 2024年度において貴組合に在籍している加入者。
重複投薬該当者 年度内において、同一月に、同一成分の薬剤を3医療機関以上から投与された者の数。
同一対象者が複数月にまたいで該当する場合は1人としてカウント。

5. 医療費に関する分析

(6) 多剤投薬率（6剤・15剤）

- <多剤投薬患者_6剤以上>
年度内に同一の月で6剤以上の薬剤を処方されている患者の割合は「35.0%」です。
- <多剤投薬患者_15剤以上>
年度内に同一の月で15剤以上の薬剤を処方されている患者の割合は「1.8%」です。
- 多剤投薬該当者の平均年齢は、6剤以上該当者では29.7歳、15剤以上該当者では35.0歳です。

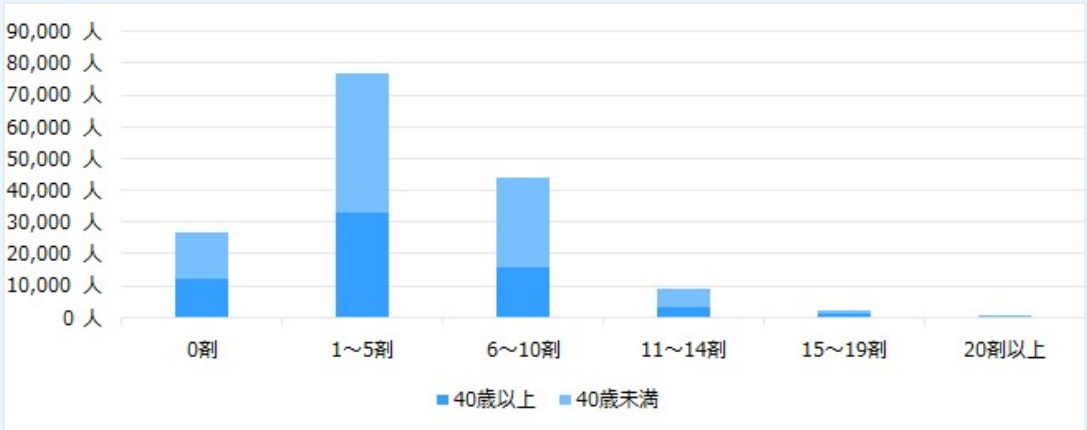
■ 多剤投薬該当者割合 別冊1（40歳以上） P.51

貴組合	6剤以上	35.0%
	15剤以上	1.8%

		人数	該当率	平均年齢	男性比率
40歳以上	6剤以上	20,276 人	31.0%	53.1 歳	57.6%
	15剤以上	1,402 人	2.1%	54.5 歳	46.2%
	対象者	65,474 人	100.0%	52.1 歳	62.5%
40歳未満	6剤以上	35,307 人	37.8%	16.3 歳	55.1%
	15剤以上	1,415 人	1.5%	15.6 歳	52.1%
	対象者	93,328 人	100.0%	20.1 歳	60.4%
全年齢	6剤以上	55,583 人	35.0%	29.7 歳	56.0%
	15剤以上	2,817 人	1.8%	35.0 歳	49.2%
	対象者	158,802 人	100.0%	33.3 歳	61.3%

■ 同一月に投与された薬剤数（年度内の最大数）別の人数分布 別冊1（40歳以上） P.51

		合計	0剤	1～5剤	6～10剤	11～14剤	15～19剤	20剤以上
40歳以上	人数	65,474 人	12,005 人	33,193 人	15,676 人	3,198 人	1,069 人	333 人
	割合	100.0%	18.3%	50.7%	23.9%	4.9%	1.6%	0.5%
40歳未満	人数	93,328 人	14,504 人	43,517 人	28,359 人	5,533 人	1,223 人	192 人
	割合	100.0%	15.5%	46.6%	30.4%	5.9%	1.3%	0.2%
全年齢	人数	158,802 人	26,509 人	76,710 人	44,035 人	8,731 人	2,292 人	525 人
	割合	100.0%	16.7%	48.3%	27.7%	5.5%	1.4%	0.3%



対象者（母数） 2024年度において貴組合に在籍している加入者。
多剤投薬該当者 年度内において、同一月に、6剤又は15剤以上の薬剤を投与された者の数。
同一対象者が複数月にまたいで該当する場合は1人としてカウント。

5. 医療費に関する分析

(7) ジェネリック医薬品使用状況

- 後発医薬品ありの先発医薬品が、すべて後発医薬品に移行した場合の削減可能金額は「47,934万円」です。
- 資格カテゴリ別では、「被保険者男性」の削減可能金額が最も大きいです。

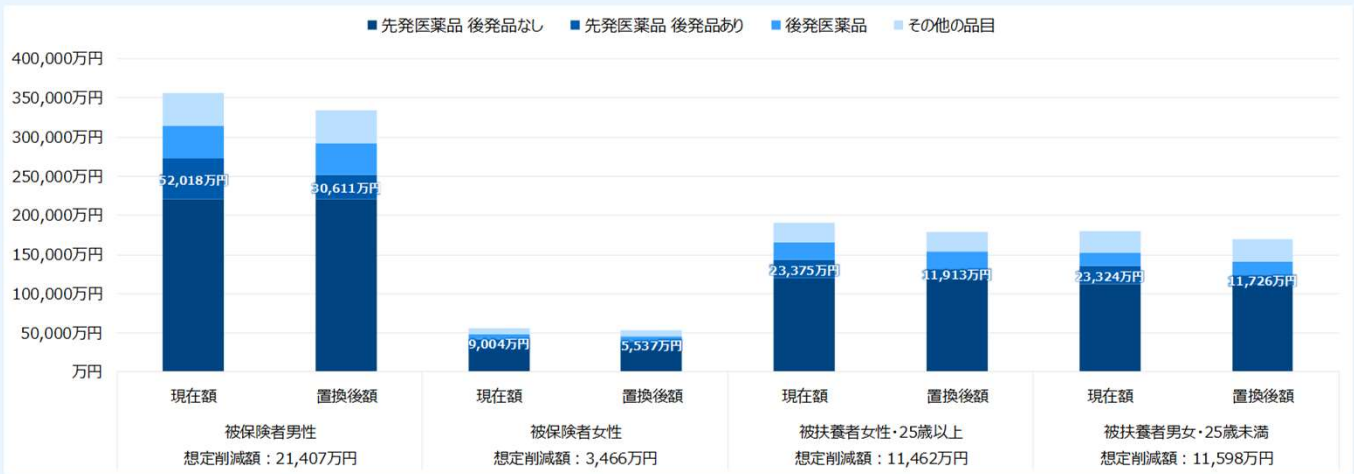
■ ジェネリック置換期待効果額 資格カテゴリごと 別冊1（40歳以上） P.52

※「被扶養者 男性 25歳以上」は金額が少ないため割愛しています。

資格カテゴリ	現在の金額と ジェネリック置換後の金額	先発医薬品		後発医薬品	その他の品目	合計
		後発品なし	後発品あり			
被保険者男性	現在額	220,821万円	52,018万円	41,329万円	41,942万円	356,111万円
	置換後額	220,821万円	30,611万円	41,329万円	41,942万円	334,703万円
被保険者女性	現在額	32,980万円	9,004万円	6,876万円	7,524万円	56,384万円
	置換後額	32,980万円	5,537万円	6,876万円	7,524万円	52,918万円
被扶養者女性・25歳以上	現在額	120,161万円	23,375万円	22,397万円	24,365万円	190,298万円
	置換後額	120,161万円	11,913万円	22,397万円	24,365万円	178,836万円
被扶養者男女・25歳未満	現在額	112,213万円	23,324万円	17,141万円	27,942万円	180,621万円
	置換後額	112,213万円	11,726万円	17,141万円	27,942万円	169,023万円
総計	現在額	486,176万円	107,721万円	87,744万円	101,773万円	783,414万円
	置換後額	486,176万円	59,787万円	87,744万円	101,773万円	735,480万円
	削減可能金額	0万円	47,934万円	0万円	0万円	47,934万円

■ ジェネリック置換時の総医薬品額の変化 資格カテゴリごと 別冊1（40歳以上） P.52

※「被扶養者 男性 25歳以上」は金額が少ないため割愛しています。



ジェネリック

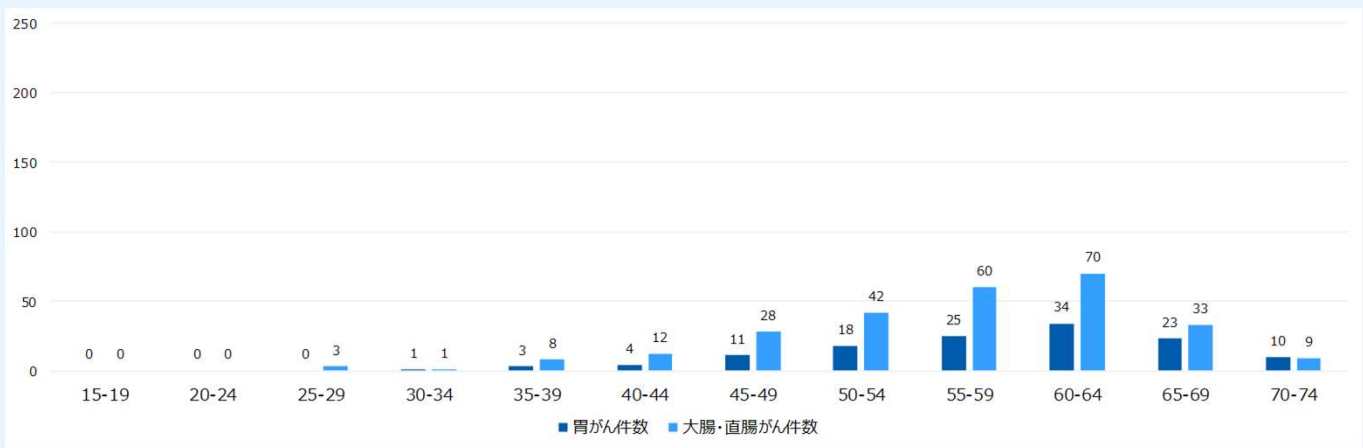
6. がんの受療人数・医療費合計

- 男性では「25-29歳」以降からがんの罹患者が発生しています。
- 女性では「25-29歳」以降からがんの罹患者が発生しています。特に「乳がん」は罹患者が多くなっています。

※20歳未満、65-69歳、70-74歳については記述していません。

がん

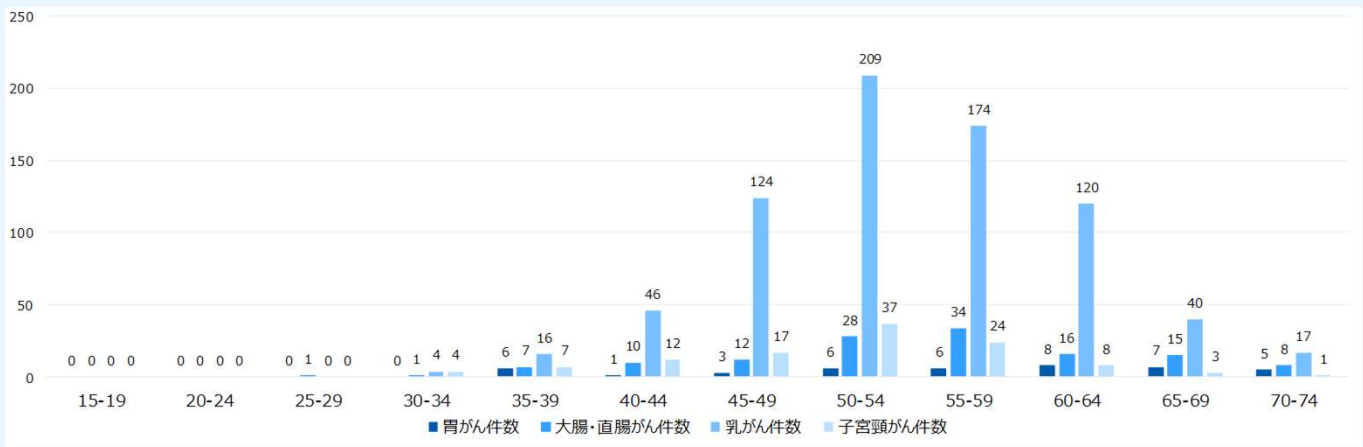
■ がん罹患数【男性】 年代ごと（集計対象：被保険者・被扶養者） 別冊1（40歳以上） P.96



種別	医療費合計	件数
胃がん	¥16,963,577	129
大腸・直腸がん	¥114,809,488	266

※疑い病名除く

■ がん罹患数【女性】 年代ごと（集計対象：被保険者・被扶養者） 別冊1（40歳以上） P.96



種別	医療費合計	件数
胃がん	¥13,302,765	42
大腸・直腸がん	¥40,376,274	132
乳がん	¥290,133,567	750
子宮頸がん	¥10,902,587	113

※疑い病名除く